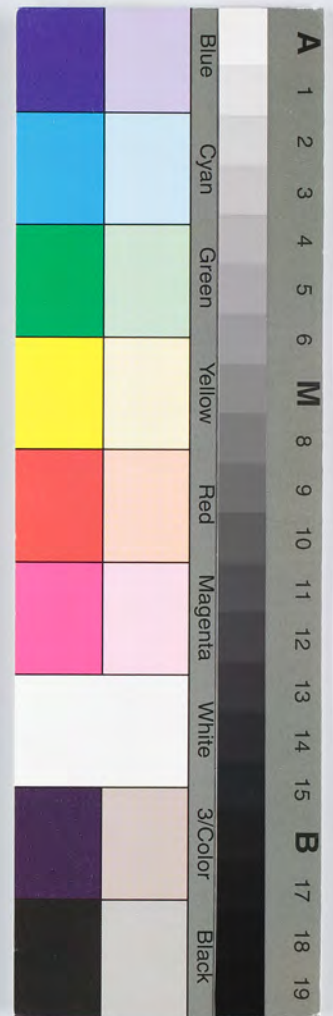
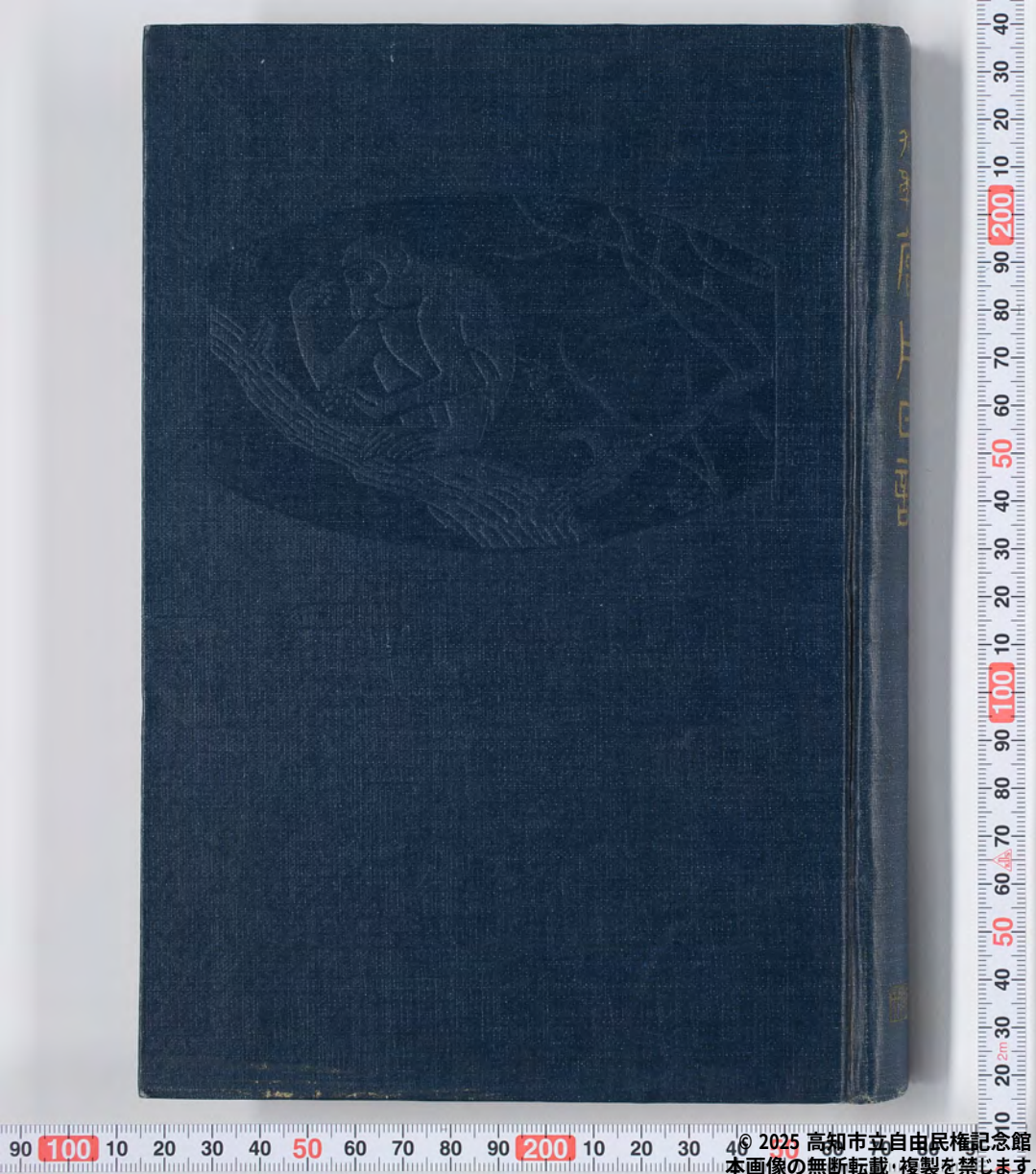




以下日記頁のみ撮影
(1月1日～12月31日)

天気 晴
寒

観音の白

朝霞ケリ降りたるも同く一々晴とあきま仕
合ひもき新しき
午餐後弄美と共に散策して一祠、赴き女将、所
業祝儀掛松岡ノ増ル神余 三音親ナ及言ナ
大満喜ミリ婦人、古書に伴フテ婦人、女書ノ馳走
を為テ一行四人、四時半終ニテ婦人、
薄暮寺ノ正夜ト公園附近ノ別荘ノ様ナリ
見ル雲降りナル
夜介又晴レ月光白シ
寺ノ如ク各部々不訪電燈工費、計百廿拾七円
余り又私

観音の白

天気 晴
寒

天気 晴
寒

今日ハ素木成一行見元カト思ヒ外見ヘス自分達
モ亦外成スリ、降りたり湯入リテ快ナリ
床むきとも温泉ノ入リ、地春来ス
咲き前入浴中、空一、雪ナリ満月皎々明
星山ノ上、懸レリ爪支云フカラス
湯さめを忘テ、眺む、五月
山頂ノ上、至テ、投む、五月
半夜月皎々而シテ雪降ル一、一、観ナリ
樹木生ナリ、五月十三日以後、分テ拾七、四、余
リ、又、私、合、時、温泉料、六、月、分、計、拾、四、円、外、一、口、又、
私

庚子
子甲

日 七 月 一

月一十月未己
日七 十

風天 羊雲 暖寒	晴	晴	晴	晴
十一時止社	社	社	社	社
社、面談中、採針、採長、外、一、一、水、上、参、事、候、寅、件、美、認、り、支、り	社	社	社	社
9				

(二平見)予献を第種七てめ始 (三皇天修成)予任を職宿内武き置を置大てめ始

月一十月未己 寒小 日六 十 月一 日六 十 月一十月未己 寒小 日六 十 月一十月未己 寒小 日六 十

風天 羊雲 暖寒	晴	晴	晴	晴
十一時止社	社	社	社	社
社、面談中、採針、採長、外、一、一、水、上、参、事、候、寅、件、美、認、り、支、り	社	社	社	社
8				

(八正大)予献氏トルベズール領統大國米前 (六〇七一)る生シヨグラフ

天候

晴

暖

寒

午前十一時出社

午後二時三十三分川製鉄所方面へ行幸
会友室、梅野實氏より招き三十三分川へ入りて立ち上り
調査書ヲ示レ其の不確実ヲ責メ自決ヲ促ス梅
野陳辭し辭し一應未だ村トテ係リ陸上シテ
其不確実ヲ自決ス依テ一兩日中ノ詳表ヲ呈上
セハ幸トス
午後五時羊南宮へ入付候ヤト一泊永業(倉
庫和室)トシ格好殿へ召入奉り中実直ニ候ハ柄
島大常備隊酌多ク取升呈奉り各々辭上ル
リ九時帰宅
本社上目星、仏生殿へ死告ヲ奉ス
壽天常備隊人新子具合召カセ席

天候

晴

暖

寒

一天雲無リ晴シ春中分ラレ候ヤリ九時迄ヲ
出テ九時三十分ヤ青山春陽ハ身ヲ三村若手氏
ノ義儀ヲ西詰ス十時四十分カ式終ル直上目星
ノ氏生殿へ告別式ヲ行ヒ夫ヨリ自備庫ヲ上
川ノ岩井男内肯堂ニ馳セ先ハ墓参ル奉
シ十二時四十分帰宅
午後五時後二時面ニ自備庫ニテ高輪大橋母
重ハ新子沢前ヲ述ヘ三川ノ三ツテ公様母ハ泰
子下婦人合殿倉片所、西園寺ハ部夫人新子ノ
頭夫ヲ弔シ五時赤坂御所、栗木常陸守殿へ
役参ノ参リ此ハ合衆十七人ハメヲハルテ快
飲ハ舞臺出来舞シ九時合衆十時帰宅夜
半雨降ル

〔種火〕
平度

日三十月一

月一十時未己
日三十二

陰 陽		陰 陽		無天 晴 暖寒	社會の目
陰	陽	陰	陽		
朝入宵レテ好天ニテリ 目笑田男等ノハレハ國ニテリンクン成中入松 平松領事参事、係にヤ方ノ裏見ヲ及ニ事ス 村田康彦等ノ對シテ息後森氏南船会社参事 森中身元ノ妻保裕人タルノ依頼ヲ断ル年未ノ 主美ナレバナリ 又タヘーグーカールンデ花告、柁ヤホレボイダト 共ニ馳走ヲ主客九人鎌田氏ノ外ハ島井、廿時同地 見タ家分テ除指ヲ解スルニ三リタハ以テ表人ノ 満足一入、見ヘタリハ時羊正散 夜十時頃後台明庵中長久父父明ヶ言シモ亦無天 竹附止、大幸アリ風陰ナリシヲ以テハ歌セリ 労働会談ニ出席、タハ大使一行帰朝 本日ヨリ野竹喫煙ヲ止メ止ス					

(八三治明) 設創除従水潜 (四一帝略維) 予朝來てめ給續奥、機綾女工 15

月一十時未己
日二十二

日二十月一

〔種火〕
己巳

陰 陽		陰 陽		無天 晴 暖寒	社會の目
陰	陽	陰	陽		
此年ノ四晴シ天ニ調ナリ 午時古社梅野ノ一件ヲ社長ノ執意ヲ 午後五時社長ノ執手柁寄ニ高給ノ即、後々公 合ハ重役以上ナリ社長柁ヲ要シテ後全社ヲ理 後更更ナリ、此年ノ主客坐付一席ノ演言アリ余 其柁柁、對シテ答答ナリ、九時退去余次而 度、下リ能見奈田ト合衆帰宅ス 此日、若川伯并、西園寺八郎并、主事料合於 屋ヲ當ハ					

14 (三正大) 火噴大島櫻 (元武建) 予行發な幣紙てめ給

月一十閏未己
日五十二

八五

八 級

氣天

晴

暖寒

族

三

十一時出社

今朝社茂梅野ヨリ見シタルヤヒテ辭表呈せ後
ノ如置テテ益口爲人大ノ如置テテトスレ候ヤ
リ余ハ其不ナリト云マ

午後五時江口主人トテ帰朝中ノ高峯坊ナリ

為大倦こゝろ、栗つ庫く、宴う席しき、トット、賓ひん客きやく付つ士しノ

外三葉上
前，但可
後儀事
矢田三井

世英東坡詩集卷之六

山室文華村政和及金市江口良泉

卷之六

(八七七一)見發鳥群哇布 (九五七一)るさ開公てめ始館物博大敦倫

17

月一十日未巳
日四十二

一 月 十 四 日

曜水

100

08 53

400

疾

STAY

52

三

十時日一夜命アリ著お帳ヲ書シタルヲテ昨日ヨ
 リ本日ハ紙カ差シテテ陳セシ置ケリ
 井井介書金計子方ニ依領シ置キタル本領ヘノス
 替込付シ来ルガ替百圓玉子兩條ノ流及大叔母
 ハノ年玉丸ニ壽美ヨリ岡本田岡師シタ金又
 衣分程品部代代人公人病支付申付テ十七日
 ノ振込金ヲ辨リノル又本宅

16 (九三同)旋凱將大木乃 (五一同)く置を兵憲ため始 (七治明)あらで聲要親具食

16

晴

暖

晴

晴

暖

十二時止物直、最初ノ理事會、修ミ升合セリ
 下ス
 南丰、派差成リ生糸輸出、恒常、付小野、長尾
 成相、後人、我部、成ト、川口、仲并、北洋、渡井、太
 子、堤、其、他、ノ、公、業、者、ト、合、同、ノ、件、并、其、見
 ヲ、陳、列、ス
 午後五時三十分、近、及、郵、船、社、長、歡、迎、ノ、為、メ、催
 シ、ム、ハ、花、井、喜、喜、席、ハ、花、井、喜、喜、ハ、郵、船、重、役、一、全、員
 四、則、社、長、凡、種、ノ、為、メ、又、席、主、人、ハ、金、及、に、西、人
 他、ノ、金、及、全、社、ノ、重、役、並、羊、出、席、金、様、打、ノ、料
 子、庄、バ、郵、船、ト、郵、船、田、交、ノ、強、ハ、リ、必、要、ヲ、説、リ
 之、ト、ナ、レ、ト、近、及、社、長、ヨリ、金、及、ノ、答、復、アリ、主、者
 散、ヲ、令、シ、九、時、半、迄、出、ス

晴

暖

晴

晴

暖

十二時止物直、社、長、室、派、差、成、リ、生、糸、輸、出、恒、常、付、小、野、長、尾
 招、キ、生、糸、輸、出、合、社、改、定、ノ、件、ヲ、以、定、ス、以、来、
 後、ト、考、合、成、洋、渡、書、ノ、件、ハ、月、曜、ハ、派、差、
 ト、ス
 松、本、健、次、郎、成、リ、生、糸、輸、出、合、社、一、部、成、未、訪、查
 田、亦、要、却、ノ、若、松、若、松、株、川、交、并、旧、株、十、株
 ハ、松、本、同、是、等、ニ、テ、可、リ、交、并、旧、株、健、次、郎、成、
 及、手、シ、通、キ、タ、リ、知、今、派、一、部、成、以、来、全、社、ノ
 社、株、身、分、内、見、者、ニ、テ、日、交、一、部、相、談、アリ、社
 長、ト、相、談、上、羊、渡、ノ、交、并、ヨ、リ、ス
 松、本、同、交、并、未、社、立、テ、入、社、ノ、東、道、主、人、ス、ベ、キ、カ、メ
 必、要、点、ト、手、シ、(一) 概、括、死、亡、シ、タ、リ、付、ワ、リ、テ、
 新、島、ノ、松、本、同、交、并、(二) 概、括、死、亡、シ、タ、リ、付、ワ、リ、テ、
 ト、相、談、上、以、介、入、者、中、古、アリ、合、議、ノ、条、件、ニ、テ

羊渡、山、時、辰、去

天気		天気	
晴	暖寒	晴	暖寒
小川親、後理部、夫、修、十六日相次ぎて、夫、倒レ、二十、病、死、アル、事、主、知、ル、事、ナ、リ、地、田、假、借、等、毎、年、十、八、日、一、日、五、七、十、表、示、ス、コ、ト、是、工、場、一、所、 午前十時、四十、分、上、社、会、長、辭、任、年、社、内、へ、疾、 砂、状、印、刷、ス、ハ、騰、空、ヲ、針、廿、五、條、回、製、錢、野、中、 兩、方、共、ス、 兵、電、新、株、七、拾、五、株、ハ、年、々、才、參、回、此、モ、株、本、 斗、四、五、十、才、(三、拾、七、月、才、株、上、リ、)ヲ、安、田、銀、行、ハ、振、 込、方、銀、行、共、同、依、頼、シ、年、後、支、取、に、支、領、 ス、 大、正、八、年、才、決、算、并、九、年、才、決、算、評、議、会、 ハ、主、ク、為、十、一、時、半、ヲ、工、業、保、本、部、ノ、理、事、会、 リ、公、親、建、算、費、百、六、万、圓、ハ、此、ル、迄、ハ、決、算、 本、給、万、圓、ヲ、差、越、ス、ト、算、出、ス、其、ミ、一、時、半、野、社、 松、岡、向、手、才、ヨ、リ、申、越、ノ、ド、ル、ト、ル、ハ、ウ、リ、才、事、止、 長、ヒ、迄、置、置、リ、四、時、半、迄、也、			

(一三治明) 説、設、府、紳、元、(三一保掌) 才、親、株、組、生、共

天気		天気	
晴	暖寒	晴	暖寒
初、十、日、島、石、台、子、神、八、川、越、年、相、談、ハ、見、エ、 午後二時、三、分、一、二、萬、村、中、治、部、兩、方、必、			

而模倣ア十一時之社
 正午ノ介胃病後始メテ今社見ユ山亦有炭心
 ノ件木内分ミリ、迄テ移サレ而明日木内成、自
 合親羽面合スリク群、因テ取リテトス事ス
 午後一時半柳生一、次、次ノ告別式、今成若松
 所、却、昭々、添田、杯、確、也、白、仁、依、田、共、公、成、友
 人文場、参列ス生華、悉、其、如、リ、生、前、ノ、交、際
 ン、便、ハ、レ、ム
 奉養ハ朝之時、夫人、七、面、尽、飯、田、居、次、等、成、年
 々、帰、リ、中、野、春、子、(池田)夏井、行、リ
 午後八時春子、死、去、也、ト、の、夫、の、妻、の、子、供
 等、之、の、一、テ、奉、養、ハ、夜、半、迄、終、末、子、助、を、お
 して、後、葬、リ、事、キ、マ、キ、事、不、ラ、感、ハ、漸、情
 不、堪、

晴 暖寒

朝島村陸軍及公文正史本
 方、一時、中野池田、海、赴、ク、子、供、三、人、政、務、成
 生、所、有、雄、背、泳、渡、リ、島、サ、レ、多、分、持、リ、島、村、末
 之、人、(台、十、二、等、上、春、子、次、高、ノ、村、子、別、テ、子、助
 ス、花、顔、眠、レ、ル、カ、知、リ、山、課、何、カ、柳、洞、ス、ミ、シ、レ、ル
 可、キ、吾、レ、却、テ、彼、ヲ、送、リ、痛、涙、ハ、堪、ヘ、カ、モ、ナ、リ
 政、務、成、カ、妻、ヲ、失、フ、テ、目、失、ス、ル、持、全、清、メ、不
 堪、夫、雄、ハ、自、宅、帰、リ、テ、療、養、ス、可、キ、旨、ヲ、注
 告、シ、三、時、停、リ、テ、停、ル、事、今、木、内、産、四、郎、成、也
 ヲ、所、フ、不、在、鳴、ノ、台、ノ、別、苦、お、シ、キ、タ、リ、ト、ナ、リ、
 事、得、テ、又、暮、方、ミ、リ、三、分、更、テ、又、ナ、リ、事、ナ、リ、臨、テ
 許、養、成、セ、ム
 人、の、心、を、も、つ、の、夫、を、愛、の、し、し、所、
 人、の、心、を、も、つ、の、夫、を、愛、の、し、し、所、

月二十日未巳
日

驕

暖寒

三

朝十時半、本館社長に、理事田中、釘草会
社公用件を確て、午後更、三毛川へ、社
長、尾上江口、蓮席、上座、組合、社改革、の
メ、其、次第、取、掃、役、多、き、事、を、先、行、す
午後三時半より、寺内、伯、銅、像、運、集、喜、久、会
、田中、陸、相、官、邸、参、り、禪、井、斗、松、万、座、合、合
、顔、繼、り、大、作、集、り、百、千、模、様、参、り、三、長、三、井
、三、万、五、千、座、の、金、を、金、銭、参、り、七、五、百、五、十、時、半
、席、迄

(九一治明) く置を庭道海北 (元化弘) 御崩皇天孝仁

28

社會の今日

天氣

晴

寒

17

一 月 二 十 七 日

月二十日未己
日 七

火 車

08 强

自能 一 五

奉旨書長女
呼拉不齊
呼拉不齊
呼拉不齊

天々無上と溫和ナリ一時古社
 社故ヨリ針葉会社公開ナリ其竹ノ公意ヲ
 得タル者ナリ
 幸内伯銅休ナリトハ要百五々圓系附ナリ
 一時ヨリ中野ノ池田春子ノ告別式ハ快ニ去
 矢シ落合ノ共テ其ノ外ナリ浮合ノ際ノ針ナ
 業師ノ活タリ心時遺散者雄台ナリ道宗大
 人ノ雅度セラレ共テ其ノ着一片ノ若器ノ
 煙ノ意
 凡ナリナリ此ノ處ノ者ナリ寒椿
 夏下迄師タノ京平ノ中下男ノイニルモ
 ガ血清は鉄ヲナス金及正度モ其住鉄ヲ交
 リ得美ハ病多ク見合ス

(二韓文) 戰の館跡碧 (元久承) ゐらせ殺刺朝實源

29

風 欠

晴

暖 寒

日

午前十一時半出動
親戚不幸ノ故ヨリ喜多又井氏今夕柩ヲ
ヲ折ハル

午後半時理事會用催席六於テ社長
其會社公庫ノ理事ヲ發表ス

其山後片成ヨリ他々隆成持券ノ地下鐵道
目論見甚テ支取ル

五時退云

其大和町長田村、地知五百七拾五坪々々松園ニ
テ望ミテ有之者久保七氏ヨリ迄知リ

社務全日

風 欠

雪

暖 寒

日

朝七分半雪被リ十時三十分止社直、針葉
會社重役會、列席

針葉會社常務、對シ株式會庫ノ順序、付研
究ヲスリテ未決スル知リ

其事會社カ為基平ヲヨリイリス財産知分
并、諸代理店引渡、席ルおん成ヨリ五合ノ額

未ヨリ五時退云

日奎酒造會社増資案、通知、梅久保會二月
十二日

一資平八拾万円ヲ抽止後斗百万円トス
一資万六千株ヲ旧株主、四千株ヲ役員、四千

株ヲノレニ付ニテ公議ナリ

本夕明治神宮奉賛會理事會ヲ召集後、役
員會ヲ開キテ、病人多クメ延期ノ事、会長

依川市連ヨリ通知ナリ

風 欠

雪

暖 寒

日

節分	二月二日
立春	二月三日
雨水	二月四日
節雨	二月五日
初春	二月六日
針供養	二月七日
節分	二月八日
節分	二月九日
節分	二月十日
節分	二月十一日
節分	二月十二日
節分	二月十三日
節分	二月十四日
節分	二月十五日
節分	二月十六日
節分	二月十七日
節分	二月十八日
節分	二月十九日
節分	二月二十日
節分	二月二十一日
節分	二月二十二日
節分	二月二十三日
節分	二月二十四日
節分	二月二十五日
節分	二月二十六日
節分	二月二十七日
節分	二月二十八日
節分	二月二十九日
節分	二月三十日

節分 二月二日 節分 二月三日 節分 二月四日 節分 二月五日 節分 二月六日 節分 二月七日 節分 二月八日 節分 二月九日 節分 二月十日 節分 二月十一日 節分 二月十二日 節分 二月十三日 節分 二月十四日 節分 二月十五日 節分 二月十六日 節分 二月十七日 節分 二月十八日 節分 二月十九日 節分 二月二十日 節分 二月二十一日 節分 二月二十二日 節分 二月二十三日 節分 二月二十四日 節分 二月二十五日 節分 二月二十六日 節分 二月二十七日 節分 二月二十八日 節分 二月二十九日 節分 二月三十日

節分	二月二日
立春	二月三日
雨水	二月四日
節雨	二月五日
初春	二月六日
針供養	二月七日
節分	二月八日
節分	二月九日
節分	二月十日
節分	二月十一日
節分	二月十二日
節分	二月十三日
節分	二月十四日
節分	二月十五日
節分	二月十六日
節分	二月十七日
節分	二月十八日
節分	二月十九日
節分	二月二十日
節分	二月二十一日
節分	二月二十二日
節分	二月二十三日
節分	二月二十四日
節分	二月二十五日
節分	二月二十六日
節分	二月二十七日
節分	二月二十八日
節分	二月二十九日
節分	二月三十日

節分 二月二日 節分 二月三日 節分 二月四日 節分 二月五日 節分 二月六日 節分 二月七日 節分 二月八日 節分 二月九日 節分 二月十日 節分 二月十一日 節分 二月十二日 節分 二月十三日 節分 二月十四日 節分 二月十五日 節分 二月十六日 節分 二月十七日 節分 二月十八日 節分 二月十九日 節分 二月二十日 節分 二月二十一日 節分 二月二十二日 節分 二月二十三日 節分 二月二十四日 節分 二月二十五日 節分 二月二十六日 節分 二月二十七日 節分 二月二十八日 節分 二月二十九日 節分 二月三十日

無天

雨

暖寒

記

無天

雨

暖寒

記

社會の全日

社會の全日

無天

暖寒

記

今朝貝島を二時見定（一）北に市電ヲ發ス市會

社ヲ船田代ニ移シ葬式ノ際生老供ヲ新入座現

依頼ス

朝九時半中央停車場より西武利亞花ニテ戻来

針葉會社久鈴木春三助及鈴木智一郎ノ

西武ヲ送ル

十一時十分公知ノ公成氏ニテ戻来ノ後見針

葉者及中本様針程長池地方成別長

ヲ送ル

十二時工芸倶楽部ニテ得親ノ席スル理事

會、出席ス野途銀行ノ主スリ銀行集會也

右席スハ意見ヲ本々君ヲ介シテ聞合ス

上流方打テリノ本電ミリ会人ヲ招致スル旨

田原氏ヲシテリノ一組一

五時ニ返ル

十二時出勤社長出勤午後三時半心得親

ノ理事ノ會工芸倶楽部ニテ送リ

九時三十分堀田泰介君返リ（返席ハ二男）法

政士ヲ僞養士（春ヤ田在子表君ノ妹）實ツタ

ル時傍に在リ、春、舊地橋養軒ニ赴キ八時

半退来

カーレン氏ヨリロガー十歳玩保護ヲ久奈ノ依頼シ

タル件、井田知吉君来訪

針葉會社株公發分、半、廿、池田三武志氏

休政并、普通募集並用ノ事ヲ助メス

晴

6 暖寒

朝之肝支利澤公 新年ノ夜ウイ見エ旧曆
ヨリ師矣、懽リタトノ季也 幸甚、新次有想
式、進ムカシ

十時出

大屋敗哉銓不馬也代婦朝，接抄見工

五時退堂

今宵
節分豆まき、
如冬、
夕

全集の全一冊

社會の今

天魚

市

暖寒

國本歸、長田地知元
知、件、件、谷而日出

午前十時半迄

十二時工葉俱示部理事會、候之理事會、綜

合祝（作伴祝也）又町天ノ明日迄合々備シ
又町天ノ合長ニ望リ一時羊ノ糞ヲ

二時前麻生太吉及本社全氏釘造賣却件

中怨嘆了、依心、無碍上會衆三會、并擁護
日保堂に於て、千五百圓にて、張屋、主裏向、漏不、松隈

取調上代金返事ヲナスハキキ

二時 羊子リ 針堂 全社 公開 本社 社長より 参り

拆名了香、半、青不、室松、三器、三

何及男一余香父長
九時辰散出

神戶久保鋈七郎

奔奔

晴

暖寒

晴

暖寒

朝十時羊太郎社長より市事一件内之長ヲ
タリ知アリ社長ハ合資会社ノ増資ヲ機会ニ
テ行ハリ借金ヲ返却シ、姉弟三人ノ父ノ遺言ノ
通り五十万ノ増仕分ヲカシ成漢學校ノ基金
金ヲ決定セリトスルニ在リ
十一時ヨリ理事會開催市事大石井町ヨリ日
本生名株式会社ヲ小野坂ト合併決定ノ一
ヲ報告ス
三時池田春子ノ二七日ノ葬儀會々下會輪來
輝幸ハ此ノ幸ハ池田家ノ喜慶ナリ於テ時
ノ宸食ヲ會々九時羊太郎出 母坂三河使ハ春
木栗送成ノ招宴ニ列シ九時羊太郎迄

晴

暖寒

晴

暖寒

朝十時羊太郎社長より市事一件内之長ヲ
タリ知アリ社長ハ合資会社ノ増資ヲ機会ニ
テ行ハリ借金ヲ返却シ、姉弟三人ノ父ノ遺言ノ
通り五十万ノ増仕分ヲカシ成漢學校ノ基金
金ヲ決定セリトスルニ在リ
十一時ヨリ理事會開催市事大石井町ヨリ日
本生名株式会社ヲ小野坂ト合併決定ノ一
ヲ報告ス
三時池田春子ノ二七日ノ葬儀會々下會輪來
輝幸ハ此ノ幸ハ池田家ノ喜慶ナリ於テ時
ノ宸食ヲ會々九時羊太郎出 母坂三河使ハ春
木栗送成ノ招宴ニ列シ九時羊太郎迄

魚天

晴

晴

晴

朝十時迄千近朝候ニシテ今日父ノ命日ナ
 正午ヨリ壽美ト去リ津井ノ墓参リ野金
 陶器古董店ニ立交リ朝鮮床津ノ香爐
 (不立同) 柳ノ置箱(三向) 書台葉十(不立同) 及明和紙
 水入(七向)ヲ購フ正午ヨリナラシムル云々益々
 降リ滿目銀連界ヲ滾去ス衣倉島村矢雄
 旗乃牙池田ノ千供ノ事ナ相談ニ本ル

魚天

晴

晴

晴

降雪積ル事三寸朝候ニシテ味シテ録ナ
 タリ十時羊工葉俱ニ却ノ所得援ハヤハ理
 事会ニ到リ十二時野社
 三ツ川迄船中ヨリ神戶迄船外列長肉類
 ノ相談アリ田中丸外望ミ紅キモ先ノ大石ノ相談
 スリテ島ナリ事ス
 五時三十分春子還候理養ノ岡山ノ政佐
 氏旗帶セテ赤雄公伴看家ト云ニ中書停
 車場ノ見送ル
 此朝九時半先村利之本坊

45

新井白石の生るる(三層明)

晴
暖寒

朝十時正及二十葉後ノ志治王其他ノ高師
中念中無五年生交研教師、呼出サレ壽美不
休、付テ高師中念中其後、行キ教師ト付
漢十二時半出社々々長ヨリ近及、其平公所由
様様ス

子支箱男氏今朝十時半卒然不吉ノ報アリ
四時半、梅屋ノ合在ラ所ニ公女ノ道紋ハ
付テ最後ノ訣別ヲナス半白ノ鬚、喉ヲ故ヒサ
ラカシ、誠ニ桐島成、保カレテ諸々、取杜クサス
帰金由島、交リ秋暁、四幅對ノ値段、歩
十斗百圓ノ折合ヲ外、降百葉行、在ノ南
ヨカ、於此ノミ、難フ
え、書生村上、西比利亞ヨリ凱旋（電付、除
隊トナリ来リ、宿ス

（三度元） 子服に誅門府平 （元賀火） 子行を禮の貸得てめ始

曇
暖寒

おきまつレハ、三、積り、車一、二十、決、月、小、上、シ、十
リ、降、レリ、九、時、田、島、吉、三、取、来、ル、秋、暁、六、代
金、六、十、斗、百、圓、コ、支、振、フ
十、時、入、交、上、高、料、長、丁、許、ハ、行、リ
夜、八、時、汽、車、ト、付、上、ヨ、リ、旅、費、ハ、五、十、ヨ、リ、既、ッ

（〇一治明） 觀 の 南 西 （元久建） 叙 入 行 西 留

朝工時入交上科ニ主交リト時出第
 中矢府惣金仕店田代元五ヶ株行交ノ幕面
 ヲ出ス
 四時退去掃宅奈母氏母主皇新婦合道平
 福向人ス
 出清キヨリ金仕片ハ

晴	無天 晴寒	終日外也セス 吳頃茂取茂岡田定成、本宿三麻ヨリ狩ル 夜介、桑田、茅太郎、氏、稻子、風、其、名
---	----------	--

晴

晴

十時羊衣物

三杯茶漬干し金水と松カレ新葉茶銀ノ
連牛ト吹為参り共スス九時停名有ヨリト又
介重シ

晴

晴

昨より雪降り積雪二三寸又日ノ光ト
スス皮被一白玉ヲ連ラタリ霽莫ヨリ六日
箱根ノ行リハ國府津ヲ出テスサント如リ
来ハヤカス電氣ノ手代トテ確々
十二時井上三ツ、送別會ヲ常盤屋ニ唄ム早
川有美内代幹事ヲリ新金銀竹、正四
ニテ停ル

庚申閏正月
十一日

日孝福進株才六面損以
老株拾圓奉日版之
レリテ 取込済

十時羊出物
一時ヨリ釘草菜久（升）至久（合）升僅三廿、全ル
五時辰云今井ノ上矣リ十時停屯
日本酒、第一、加込ラ了マ之レニテ加込降也

(九一治明)す立設を學大國帝

65

三 月 犬



【季節】

啓彼春社
蟄岸分日

【月曆】
 帝國大學記念日 一
 上巳節 三
 滿月(午前六時) 五
 陳軍記念日 十
 金比羅大祭 十

下駄 (足踏)	十三日	大僧二詣
梅 下	十五日	七忌
上野園大師	十八日	詣
人麿	十八日	忌
六阿彌陀詣	十八日	詣
三十三所觀音詣	十九日	詣
路上本門寺觀經	十九日	詣
春季皇靈祭	廿一日	詣
蓮如	廿五日	忌
北野御忌	廿五日	詣
上弦 (午後三時)	廿七日	詣
品川千姫靈神祭	廿八日	詣
其角忌	三十日	詣

露月・はなさきつき

行事

三日上巳、女兒の家にては雄雞祀り、饗供へ懸け、寺に詣りて知己親族を招く。庚申の七日甲子○十二日巳○十八日寅、佛に供し、共に詣り、精進物の贈答をなす。見衣の調製、着古しの衣類を整理○室内装飾の變換○學齡兒童の學費準備を爲すなり。

(衛生) 兒童に遠足を試みせしめ、又住宅内外の清潔法を行ふ。(公租) 第二期分再租第四期分所得稅、第四期分活潑税の納入。

租・第四期分所得税・第四期分滞遺税の納入

時
好

〔節物〕 春田園、牡丹、引越、陽葵、花菱、春の野。
 霞、若草、雄子、遅菊、歸郷、花邊、春の海。
 〔花卉〕 木蘭、海棠、辛夷、木瓜、桃、杏、梨、金絲桃、山茱萸、瑞香、まんさく、李、木蓮、トビツバキ、フリスギヤ、アモモ、アラセイトウ、イリス、ドリヤ
 〔食品〕 赤豆餅、飯糰、助腸、白魚、さより、蛤、セウイ、螺蛸、三月大根、魚肝戸栗、根、馬鈴薯、分葱、京菜、バナ、莞蔴、草蓐、茶飯、木芽田樂。

遊樂

〔遊藝〕 郊外春、摘草、梅、桃、桜、櫻桃の見物。伊勢宮、六阿彌院詣、九品佛詣、大倉詣、觀世音札所參詣、摩訶詣、大和詣、三見物、又同馬路若若には木母子に於て金傳役戲、池上木門等との間歌には法華經、五部の修行あり。

〔娛樂〕 織草摘、ベニホトケ、蓮華の茶會等、技兩、彼岸の最歌、誦曲、樂奏、和歌、俳諧、讀物、其他盆戲の手入れ、草花の培養等、技兩に於けるもの、草花類の摘採、茄子、胡瓜、トマトの温度に種播、葱、甘藍、豌豆、豆等々の施肥。

詞譜

三月の雲となりけり浦の山
飯くはす小店もなくて桃の村
子 升 規

大 部	中 部	小 部
		無天 曇 暖寒
		十(時)出社 午後三時(時)出社、仍(時)三(時)金水、飯、訪 つ(時)金水、電、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 一面、(時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 (時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 す(時)明日、午後、(時)金水、(時)金水、 日、(時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、

大 部	中 部	小 部
		無天 曇 暖寒
		十(時)出社 日、(時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 ト、(時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 二時、(時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 山、(時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 (時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 五時、(時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 (時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 (時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、 (時)金水、(時)金水、(時)金水、(時)金水、

天無
雲
寒暖

社會の今日

九時^半社井上三々ノ海外セヨリ見テ後(本郷寺)
三時半服部一三氏ヨリ電着、御礼ハス
金火紛ハシ、藤山之氏ヨリ庫手安田
・事ハ余ハ余ハ余ハ余ハ明日午後来リテ
聖打政雄氏ヨリ松子ヲ或馬会田、棉花植主
ビート栽培(ハ桑山也)、成スト朝倉ヨリ今時
昨日孫山ヨリウキタル、庫手安田ノ周シ公成李君
午後来訪ス可キ者アリ
午後五時製鉄欠久并、森木、若林令川
金及石余送別ノ為メ催ワレタム、本城瓢屋ノ
泉席ハ其ナ九時半終ル而降ル

天魚
市
寒暖

社會の今日

十一時也社祝錢會社呈上、追か神養コリク
不燼二十五基増設、次下燼修理費其地ノ費
用約計百五十萬圓ノ理事會ニ決シテ
大阪湯川忠次郎ノ來社橋本壽造氏ノ病
大に所治知ル事又所費八千圓望南庄
院スルヤ否内合セリ坪千金用ト事ハ決
サズ、我合セ漸ク新リタリ
社長より返答合件件々決リ
十二時半エ事候事、部ノ理事會ニ以テ事
費不足ノ借金并、再該會業ハ付満充ス
ベリ
五時退去、内分各田百太郎式ヲ撰キ其ノ我
爾村人ノ觀者ヨリ

庚申年正月七日

[illegible]

(八三治明) 戰會大天奉 (三一長慶) の生樹藤江中

71

實 災

十時出社、社費總理事、帶同シテ、市船室役
 々、對シ、鼎天ノ松、乾、機、等、一、席シ、市船室役、取
 調、件、々、其、等、々、知、リ
 十二時五十五分、汽車、ヲ、箱根、向、フ、大、磯、驛、シ
 于、壽、美、會、合、同、年、九、時、過、強、雅、着、別
 在、八、八

70

(八三治明)す撃攻を德斯鹽浦隊艦村上 (二應嘉)す流に島大を朝爲源

晴

晴

晴

六時半起床ハ時三十分ノ浅車ニ下山十時
十有国府津^北發車十二時十五分東京^北着
美ト合テ^北車
上奈任^北面談ハ後ヤカ友基平^北係^北也ニ
松田貞^北分^北式^北ヲ見^北各自ノ話^北アリ
テ部^北部^北式^北ヨリ^北返^北シ来^北リ^北長田村^北典^北夫^北知
有^北地^北賣^北分^北信^北々^北金^北欠^北受^北取^北証^北調^北分^北病^北介^北と^北檢
印^北レ^北書^北面^北郵^北便^北ニ^北合^北分^北也^北發^北送^北ス
九時^北棉^北宅^北着^北美^北ノ^北永^北未^北リ^北タ^北合^北席^北膳^北其^北他^北
之^北座^北他^北ヲ^北費^北藏^北ス

晴

晴

晴

十(時)出社十二時ヨリ井上準之助(日銀総裁)
ニ永代^北村^北畔^北ノ^北社^北宅^北ニ^北辛^北發^北衣^北ハ^北此^北日^北近^北リ
未^北朝^北シ^北タ^北ル^北モ^北レ^北ガ^北レ^北カ^北レ^北カ^北ラ^北セ^北レ^北ト^北云^北(行^北ハ^北ウ^北井^北リ
ア^北人^北代^北ス^北ニ^北ス^北、イ^北ー^北ガ^北ン^北、マ^北ッ^北リ^北リ^北外^北一^北名^北云^北主
ノ^北メ^北ナ^北リ^北日^北本^北人^北側^北ハ^北日^北銀^北本^北村^北、麻^北生^北、外^北一^北名^北云^北主
役^北ト^北シ^北本^北資^北金^北子^北子^北所^北、張^北氏^北、大^北倉^北、以^北共^北、近
友^北、岩^北谷^北、石^北山^北、各^北男^北爵^北因^北鹿^北子^北(不^北女^北)、我^北野
木^北村^北(子^北代^北男^北、和^北田^北中^北に^北、主^北道^北成^北国^北環^北整^北、
高^北田^北々^北余^北ナ^北リ
三時一^北に^北棉^北社^北四^北時^北半^北退^北也

雨

暖寒

附金入文庫科
主文庫六時銘

十時羊出社

社長より分業会社より石井、中樺太炭田
調査より分業、区置ノ事、女誌アリ、諸子
余、シテ理事会列席、送船本店職、刻又
更ノ件ヲ、審議シ、金主意ヲ異フ、有奉会社呈出
イリス、代理店より、十二、八書類、番査、上、次、四、
診、誤、タ、トス、奉、御、成、リ、例、月、ノ、迄、リ、収、支、ナル
報、告、ナリ

三時、工、業、俱、不、部、理、事、会、赴、于、大、会、用、ノ、階
級、維持、演、説、馬、越、某、手、前、ノ、上、諸、々、候、補、工、力
ニ、意、見、ノ、演、説、アリ、会、合、後、席、社

午後三時半、松本、待、次、部、会、若、松、港、内、後、港、
埋、入、ノ、件、ノ、中、面、面、奥、中、本、社、北、現、出、現、成、
シ、金、主、意、ヲ、示、ス、ル、理、事、坪、改、七、九、年、工、業、三、石、井、也

天氣

晴

暖寒

朝十時去社
社長より大石辭職申出、
午後三時去社

不健
部
松

以江口赤、西三百、熟考、上、各年、凡、ト、ス
銀行、非、田、苗、地、瀾、下、注、其、及、注、列、所、針
草、合、在、株、元、本、值、數、ヲ、一、株、百、兩、ニ、定、ル、事、ト、ス
午後、其、旨、ヲ、針、廿、五、日、合、社、ノ、重、役、及、班、長、ニ、行、フ
三、井、ノ、金、砂、仙、吹、部、長、并、天、下、知、宅、賣、却、ノ、熟、考

本坊

皇太子御成婚の年、
 乙卯にハルル美言殖如、
 壬辰に三好重道氏より水戸名主と
 武田耕雲斎侯より、
 此時羊鹿古抄全入交し、
 前番一政ヲ

108 252

1852

十時羊土社寿賀ハ十時頃内田山へ赴キタ
 リ十二時以社長土社針葉株使用人配
 老ノ平ヲ社長ト決定ス又内性機合社五
 百円同ノテ改メノ事ヲ決ス
 四時内田山へ赴キ御指式ハ参列ハ時終ニ
 寿賀ハ通夜ノ云ニ後ハ致リタハモ模様
 変リテ二時頃終ニナリ
 此日無天如長辰代金ノ内三万圓主期預
 金証押ノ方及銀行ヨリ送リ来ル
 夜分雨降ル
 午後一時内田山草吹中ハ会社ニ来訪

夜来ノ雨ハ九時頃止ニタリ島村台子サ本
 訪白面合ス

二十五日夕九時半、御星、土主、内田山、
 午後三時、鈴木馬九也、リ住友銀行支店

於テ夜来、内田山、午、イ、及、バ、ク、エ、ト、交
 渉、頭、末、飯、等、アリ、六時、ニ、至、ル

六時、リ、内田山、係、一、代、隠、退、格、好、ノ、専、銀
 行、便、業、部、ハ、略、ハ、合、キ、様、々、社、長、ノ、分、別、
 アリ、夫、者、約、百、名、九、時、四、十、分、終、完、夜、分、
 又、雨、降、ル

針葉株、土、葉、等、ニ、ハ、ル、徳、山、力、主、手、及、主、世、成、各
 成、ヨリ、方、向、曲、差、ス

晴

暖寒

朝九時廿分ニ到着西土船盤入り休憩
昨日本ノ夜着テ送ス夜九時ニ十分程テ桑ノ
浜車ニ下使ノ降りテ約束ニタリ思ヒ居タ
ル屋台ニ上リ日所トナリ居タルヲ以テ居台ヲ
夫ヒ一草車中ニゴロ居テ下ノ風ニ着ス草
度又全車依頼一氏モ居台ヲ得ス余ト相
並ニテ出マリ

晴

暖寒

朝九時半下ノ風ニ着下車百午又居台金道
小至改船ニテ若船ノ何ニ着直ニ若松港
ノ宜役合ニ列ス麻生取俵役ハ上京中欠席
宜役合ニ三時ノ終ル支店ノ終リテ呼テタル新
入副長（栗田）ニ面指招取取長ノ病状ヲ
子貝井品トシテ各奔サトノ難リ方ヲ依頼シ金
松岡ノ辻ニ手を取ルコトス工場長又長若松反
府列長金道電率ヲ終成岡岡田金道
内同ノ人合夜島ノ三浦義共ノ百午ナド一晩
参上共ニ岡岡田ニリ麻生針正改見ノ模様
ヲ聽取ス岡岡田ハ古浪矢ノ松岡田ハヘリ針山ノ森本
モ金道終所ヲ時ナド出ナリ
旅飯大志下泊

四月
成天

三 月 二 十 九 日

癸卯年四月二日

氣天

而

暖寒

七時神八着下軍大西外出し倭士ス伏奈文
弁米ハ軒有右ヲ度マ
夜分テ部成本所困其者

(二治明) む 定 を 法 籍 戸 て め 始

93

月二日申庚
日九

三 月 二 十 八 日

附目

船子

四

暖寒

立則自勤年々一孤存榮太師品被七事、憾
レテ不悦也。為長存、母リ今世不在、五山赤
糸櫻ヲ散シテ五山赤ハ幕末三糸公以下七郎ノ
系居セシ如キテ糸櫻ヲ以テ百名ナリ
午後示長、本隆介、代本訪
午後七時十分、行冬、ト東上車、牛山ト依藤一
代、合合ス

(八三同) 行舉式應開府監統國韓 (九二治明) るさ殺均玉金

92

庚申年二月二日

天 氣 	雨 	風 	雲 	月 	星 	日 	時 	刻 	分 	秒 	毫 	微 	纖 	塵 	沙 	塵 	沙 	塵
今日を亦大雨外也 	其錦堂氏本訪 	夜分て部々事り同基 																

(〇一化文)で残水磐槻大 (六九五一)る生トルカーデ者學哲

95

月二日申戌
日一十

日 十 三 月 三 日

火 丁

天眞
而

寒
氣

于後支店、舟中へ部々、面会工依行ノ業始ル
岸ヲ依頼ス

夜介テ部・市吉、乃チ高木ヲ招キテ馳走ス
牛庄至リテ宿ニ在

94

(四一八一) 城落里巴立廢世一ノカレボナ (三一治明) 明發銃田村

晴

暖寒

朝暮參

午後二時親戚朋友より來り潮に成橋へ赴り
本日宗室及び婦宗等七八人あり潮へ参合して
三時より四時トシ松村公寛三氏ハ右より近親ノ
者ト共ニ此處迄居残り中少く復寧ニ來りてし
タリ

心時を休晴天にモウナリ、船富橋ノ室ニハ
 ヲ下、噴尤モ甚シ、漸リ床ニ入ル

八月二十日、夜、在、真三氏、安、死、主、君、ハ、公、食、ハ、
 今、生、ノ、別、ニ、ナリ、ナリ、鳴、野、

今更の別まやあらて更送可し 今更を
愚山^{ちやう}東^かとあさ (九月十二日付記)

九月十二日

天
晴

暖寒

朝六時神人看西索故也人几

幸後三木政夫、來訪明日、大久保 equal 知見ノ
都合ヤリテ、夫ヨリ又、宿、新座、迄、取次、赴ク
所介三村及乙部、市考来ル

奉月五日株式暴落、端荷ヲ平キタニ矢リ
ナリ

天
晴

寒

十時三木ヤ自動車より西福山へ来り全乗して
大久保に到る全乗三木ヤノ別荘にバント五ノ
まうまう小身居座よりタリタリ職工坂大収米ヤ
建設候補地タリ直林山外ニ到リ三木ヤノ二男自
動自動車(赤)と乗内久山林中内ニ三木ヤト共
に徒歩二時大久保驛よりヘリ三木ヤト相合レ一
人自動車より別件全次長田ノ別荘へ来
リ五人乗之助、百圓、百圓ハレ七時頃別荘

駐劄全日

駐劄全日

天
雲

寒

朝秋景、行大雅堂山水(吾人元年未祥参り尾道
セントウ)及伴寧美信ノ所、以爲、極代トシ七百
圓ヲ取リ

午後大段、行川添清磨、病床ヲ見舞フ
病床中エリトナセ

大政行六、十日、三木ヤノ大久保行ハエリ
其後、三木ヤノ別荘に到リ、日誌ノ一節ハ終
ル後、三木ヤノ別荘に到リ、日誌ヲ来セリ

天
雲

寒

庚午
子辰

四月二十日

庚午
二月十二日

庚午

雨

暖寒

記

午後及夜、五十七時、茂車、七時、集マ

雨

108

(一六八一) 元正天 武田信玄 起爭戰北南米

雨

庚午

三雲

暖寒

記

庚午
二月十二日

四月三十日

庚午
北辛

ハ時四十五分、東京驛、若一江、都元、十時、牛、

古、行、某、会、社、大、連、日、丹、接、助、舟、大、不、敗、マ、来、レ、
斯、政、立、新、之、文、情、ヲ、洋、ミ、シ、全、カ、先、月、高、半、ノ、
比、米、代、ノ、其、ハ、タ、リ、或、飾、ノ、過、ナ、サ、リ、シ、ヲ、知、ル、

留、守、中、國、有、事、会、社、ノ、但、儀、ヲ、改、正、シ、添、テ、校、本、
一、人、ヲ、寄、附、シ、振、元、丁、ヲ、社、長、漸、行、シ、タ、リ、劍、底、其、
依、コ、テ、行、カ、ル、百、千、下、ラ、ズ、思、ヒ、至、極、ノ、不、堪、

市、事、会、社、ノ、部、署、改、正、案、外、シ、見、エ、ラ、保、
込、ス、(皇、後、合、テ、)

上、時、都、元

(七三治明) 才 死 以 フ ロ カ マ 沈 轟 機 敵

-09

附會の旨

天正

四年

四月

十四日

朝八時半岡田美咲校長宅へ平湯島校長ト

トテ談セラレタリ其任ノ事ハ平湯島校長ト

カヘテ年久也社上之者ト云ハ明日談議ナ

スト云

ヨリ神ノ宿住トハ島長ト云ハ人達半ノ件ハ平湯

島校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

附會の旨

天正

四年

四月

十五日

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

校長ト云ハ針葉用カノ吉野杉長ノ後ハ平湯島

朝五時起、庭前散歩、小林より蓮花来り、
山より四株、植心場知、植園、七時四十五分、
聖事、寺、美々々、中、下、山、九時十五分、
車、寺、前、上、一時、半、出、社、
午後五時、第、所、胃、小、庭、事、知、合、見、合、
資、合、社、増、資、(三千、万、圓、八、千、万、圓、) 并、前、
期、(即、五、年、(五、米、)) 打、合、七、米、定、又、全、時、深、
川、別、郎、の、公、社、呈、供、ス、可、話、アリ、余、ハ、金、下、口、経、
費、持、管、理、可、ヤ、リ、ト、其、全、三、夏、得、タリ、
五、時、半、停、宅、壽、美、ハ、近、反、真、(一、七、年、) 何、キ、
テ、常、刺、ハ、金、十、所、半、停、宅、

ハ時、即、床、神、気、失、失、ナリ、立、則、中、植、不、金、ノ、局、理、
ヲ、ナ、ス、
午後、七、時、林、是、太、郎、奉、レ、三、月、末、日、近、ノ、植、不、代、及、工、賃、
五、百、六、十、四、圓、金、并、レ、六、百、圓、ヲ、午、後、ス、大、工、金、
木、モ、亦、来、レ、共、ト、徒、歩、小、論、善、シ、到、キ、植、心、場、ス、
茂、雄、ノ、山、極、ハ、未、夕、内、リ、ト、ナ、サ、ミ、ハ、論、善、シ、昔、野、極、
工、以、テ、其、少、金、リ、ハ、海、花、セ、リ、一、目、十、本、ノ、林、事、カ、
ラ、ス、他、好、ナ、リ、壽、美、々、々、中、モ、其、時、ヲ、得、タ、ル、ヲ、モ、グ、
錦、金、十、條、ノ、漸、々、ス、アリ、鶴、鶴、ノ、宗、(新、島、島、内、
一、リ、) 及、川、島、ノ、宗、三、月、鐘、ヲ、見、ル、洞、夏、ノ、地、十、
リ、錦、金、モ、往、ヤ、ト、金、様、ニ、千、ヲ、位、タ、リ、小、論、善、シ、ハ、三、
井、ハ、部、所、及、ハ、部、二、部、及、ノ、別、在、見、停、リ、ハ、出、可、
床、前、及、ノ、停、理、別、在、ノ、金、出、シ、タ、リ、
夜、金、大、工、金、来、リ、湯、爪、冬、場、ノ、爪、ス、キ、モ、賃、其、他、
百、金、三、十、圓、ヲ、文、也、フ、

十時羊去物

十二時前葉会候知、於今、以國々、海久方
御合候、多、所ス、内田、森、松、岡、均、年、而
政、本、負、岡、船、主、年、々、年、上、別、合、候、山
供、以、男、一、歳、候、ガ、モ、ヨ、本、タ、リ、音、声、休、云
仕、者、如、キ、駕、リ、キ、駕、中、大、盛、之、年、年、
和、雪、ト、ス、而、モ、所、居、日、本、

午後六時、更、一、南、船、東、洋、名、候、三、井、又
三、井、又、船、船、部、主、一、催、カ、内、田、氏、上、別、合
ミ、中、國、オ、テ、候、山、所、合、岡、道、氏、年、年、候、也
一、九、時、梯、完

此朝廿九日、洋川、催、見、合、セ、ト、一、女、妻、家、ヲ
以、三、妻、山、主、月、氏、断、ル

小心、候、氏、小、棒、太、夫、田、八、余、モ、断、リ、傾、向、
付、法、と、本、ル

十時羊去物、昨日、南、船、近、方、本、訪、全、社、室

役、機、奉、ノ、席、に、は、直、機、候、役、合、不、共、打、合、セ、リ
合、モ、一、才、賛、成、し、江、故、リ、サ、カ、何、午、前、相、接、ル、為
お、在、事、者、也、其、方、所、感、情、甚、タ、要、求、客、易
ニ、之、ト、有、ス、江、故、主、望、と、テ、帰、リ、而、シ、余、一、面、次
ス、ル、如、ア、リ、余、事、何、ト、其、次、ノ、一、見、見、ヨ、モ、ル、事、ト

十一時、理、事、会、幹、事、会、社、ノ、五、期、カ、ル、迄
重、要、ヲ、決、定、ス

午後四時、近、方、本、田、一、面、候、後、平、川、一、寺、中
母、人、一、而、合、七、時、梯、完

魚天

晴

暖寒

十時羊去社

午後一時暫我全社奉期安養、園に室役合
り、所より退席ス

五時帰宅

沃野保正(金沢、陶師)全人へ注文ノ倉番煩
其代償約三百金用、モリ待券、全人鑑之
脈、智具、ハヨリ、余、并、教、上、示、大
得、ハ、如、ヤリ、教、牛、右、南、京、城、北、平、創、作、鈴、又
祥瑞ノ鈴、五個、柵、内、門、ノ、向、付、(津、牛)ノ、世、キ、ハ
外、市、ノ、途、ニ、ナリ、ト、鑑、之、ス、余、ハ、自、リ、祥瑞ノ
鈴、若、シ、知、持、ス、ハ、故、馬、リ

魚天

晴

暖寒

朝九時羊、京橋、繁井、及、三石、安司

神ノ知、田三石、神社、神、殿、建、築、金、所、金、化、銀、件
ハ、未、訪

十二時去社

一時羊、翁、業、全、社、株、買、入、ノ、代、金、出、金、并、
筋、入、金、ノ、件、ハ、銀、行、部、ニ、出、キ、一、切、奉、リ、大、山
井、依、頼、ス

五時帰宅

夜、有、吉、田、茅、太、郎、氏、ヲ、訪、ヒ、同、其、石

陳記

針葉合社株五百兩、
利息三月（月利）大
山合、
武田及三宅川前、
杉木男爵、夫人死亡、
五時、
杉木男爵、夫人死亡、
五時、

1' 6 (九八七一)るなと領統大ントンシヲ (九六七一)る生ントンリエウ

時
好

散歩の奨励。
(公租) 第四期分田租納入

【花卉】牡丹、夏水仙、突羽根草、金盞花、芍藥、薔薇、藤、一八、

勞 馬劍峯、
薑 豆、
苡 苡、
荷 大、
夏 蜜柑、
新 茶

御(十五日) 目黒、深川兩不動開帳。夏場所大相撲

或は薰風に吹かれて乗馬を試むるなども妙味あ

し。春畝の掃立。

門川に流れ藻絶えぬ五月かな
反橋や池を繞りて藤の棚

子 碧
規 桐

十八夜二日

夏
六
日

滿
井
口

新編目に附かして大

止みて諸物盈縮を得る
時刻とす

月曆

五月十一日

四十七分

一の館
五

五

三月

月・さつき

詞藻

門川に流れ藻絶えぬ五月かな
反橋や池を繞りて藤の棚

子 碧
規 桐

庚申年十月十六日

[illegible]

日本會館

越後長岡市
 佐々木

今日の現存資料別紙にて午後四時よりブ
ンダリーツプ一行ヲ招キテ茶葉ヲ飲食スル若
シテ以テ余ハキ茶後山ヲ下レリ宮ノ下ヨリハ
ミヤノ山止ムアリ一時キ別館ニ着一行ノ定ミテ
トテ蒸器ノ口ヨリ細工(今ノ白升ヤセ)果燂(ト
向島百老園主)ノ催アリ外、日本席ニセン茶ノ
役ナアリ時刻来ハバンダリーツプ一行ライマシ
ゲート、クーストマシ、名シエル、ストリート、ベチゲクト
タビスダツギヤシ等一行内タフト、クラーウク天
婦ヲ除キ人リ余会而後、新保園池ノ燂様
ヲ游ビタシ(三羽ノ白鳥ヲモ交ヤリアリ)又モ茶
ノ燂後ミヤケ坐燂、各自ノ御興ヲホシタマヒミ
シ六時半宮ノ下ニ歸リ余ハ此時バ氏一行
ミヤノ山着キテ以テ之ヲ令ヒス燂ノ定
ハホ太田方ノ下ナリ余ハ七時丁分ノ電車ニテ歸ル

煇兒

(三正大)あらせば行を始開所問學御宮東

131

月 三 日 申 戌
日 五 十

三 月 五 日 滿
分 七 十 四 十 年 辛 酉

[illegible]

大而不便アリ故日爲ス事モナク
湯入りテハ日々外スル已

130

(元武建) ろ ら せ 岡 に 窟 土 王 加 良 誠

庚申年五月十六日 立 日 六 月 五

無火 雨 暖寒					
十一時止社 即告止三ノバ査業保勤習ノ石井氏依 頼ノ本坊 市吉三ノリ神ノ后模礼ニナル頼末ヲ禮取 ス					

（九一永應）才菴備義利足 （〇一八九一）位即下陸世五第デーヨシ帝皇國英 13

庚申年五月五日 日 五 月 五

無火 雨 暖寒				
八時半ノ電車ニテ下山十時十分國府津奈ノ 渡車ノ高乗ノ毒美ハ立乗天ノ人ヲ訪ハレメ 横濱ニテ下車シタリ十二時十分分福ノ島ニ 社長ハ福金銀倉ノ主タリ女社ヤ 立時帰宅 山岸ヨリ市吉不地主ノ頼末ヲ禮リ				

132 （六治明）上 炎 居 皇 （一〇二八一）イ 殿 世 一 第 翁 殿 奈

無天
雨
暖寒

社會の由

朝九時半小池園三氏来訪此等氏料宜役
選主ノ件依頼アリ
十時半本社有事会社場外長会談ヲ侍禮ス
十一時半理事会列席三委員保陰会社ノ
職制ヲ決ス
五時半花
会社ヨリ湯本炭火卸ノ催スル会典ニ於テ
芝ノ謝儀トシテ金百圓ヲ夫島氏ヨリ受取リ
卷山金月分ノ贈ル

無天
雨
暖寒

社會の由

十一時半
分業社株主會金部方銀行ノ相談
渡ル為ニ草氏ヨリ依頼アリ平田榮地ノ為
諸ノ置銀行業務ノ為ニ事ス
五時ヨリ南事会社場外長会合ニ於テ銀行
親会ノ紅葉會ノ列席ス
橋本三在川ノ催スル二次会、赤坂
八時ヨリ十一時半花
今朝卷山金月分ノ贈ル

無天
曇、雨
晴

晴

天候面皮ヒトシテ又雨トナル田中亦亦土方久徴
娘ト結婚成居ル午後二時ヨリ至帝國ホテル
指輪居タリト運轉キハ振込ノ病ヲトナリタル
ヲ以テ不ハ止新リ状ヲ奏ス

晴

無天
雨
晴

晴

本日ハ我儀院談員改選ノ日ナリ以テ余モ亦
國々義勇トシテ投票馬タルキハ選役知ル
キタリ時ハ十時半到着順番斗〇七〇番ヲ
スルハ一般参事リ約三十名介テ投票ヲ一
スミホ武吉氏ノ余ノ一票ヲ與ヘタリカ友江木ナ
ドノ依頼アリタル正テス我儀院内ニハ面白キ男
ナリト思ヒタレハナリ

十二時半倉庫会社ノ宣役会ノ終ム

二時若竹野ヲ訪ヒ増資ノ運用キハ社長ノ様
移運正スリキ方々傳ハシ余儀親裁ノ爲メ
及此後新料宣役ノ件及ブ終リナリ桐島ヲ
爲子我料宣役ノ候補トシテ神ノ三木正大
氏ヲ一筆諾ヲ得タル方々ナリ
四時半常任牛山氏改修ノ門前市中ヲナス

五 月 十 二 日

天晴

暖寒

赤杯全社堂役令

十二時迄社社長ハ高橋邸ニウエスヤシクハウスノヲ
不ホリニ成一行ノキ整食ヲ食食スルニ於テ彼ノ所ヲ
知
金壹百圓ヲ新陳預金ヨリ銀行當座ニ納付
國幸師ハ花田地知事却殘金及赤石前所地知
事入付之者金合計四百六十圓土村同ヲ送金
又由斗子圓ハ三百大坂部ノ支店ノ持出方正也
ト振込ム
九月十二日付テ寄附金庫受取方テ洞知シ金庫
（牛橋）ニ収メ方（一）ノ用仕ス
是迄則チ伊集々及赤石及本所ノ外ハ又ス
五時迄也

卷之四

138

(四二治明)難遣御てに津大子太皇國露 (五明文)す死元勝川經

日本會館

天
氣
異
雨

暖寒

十二時 虫社社長、面談、桐島、市前、監査役
夕、内合、付シ、義諾ヲ與フル事トス
午後一好、以時、幫、錢、金、社、室、徒、合
と、并、休、又、ス
午後二時、九、炭、金、社、室、徒、合、以、三、天、期、配、金
と、又、又、ス、各、室、徒、皆、出、席
午後四時、午、辰、坐
夕方、三、兩、又、降、ル

139

(四三治明)ず薨六操上川將大軍陸 (元長弘)流配に豆伊人土薩日

午前	午後	天気
		晴 雲 暖 雲

午前	午後	天気
		雨 雲 暖 雲

晴
晴

晴

朝九時半蓬山宮月本より西日、校舎トヒテ
新校舎ヲ贈ル

今時梅田芽根氏本訪坂神岡、於此財界
ノ模倣者、江州成木氏十名、但合貿易
会社、社長名ヲ余儀ナリセタル類モナク
十三時止社社長綿倉、出リ
午後三時外部有田、於此杜東興業園ノ
幹事会、列ス社席日安田君外、梅田主金
門等不食、小池久家、及余三井、百河、佐五ノ
代表者トテ、四時半止

晴
晴

晴

朝十時久奈原三助氏本訪綿倉、貝島主一
氏有、十二時止、於此貝島主トテ去レリ

一時半、時辰賢会、(本水教育所前領)ニ赴
キ往古、時計及曆等ヲ視ル、坪途里門所
田島、主アリ、文泉、雪、中、仁、梅、等、中井、服
野、書、留、購、ヲ、轉、シ、池、傍、(新居前)ノ、呈
坊、ニ、於、テ、立、リ、春日、夫、親、ノ、作、勢、指、格、文
泉、ノ、米、豆、山、水、(飯、等)及、今、贈、ツ、ル、金、入、ノ、雪、中、紅
松、ノ、福、改、装、ヲ、依、親、ス、昨、年、中、賴、三、道、道、キ、タ
ハ、残、三、福、ハ、本、店、ル、故、明日、持、来、ノ、サ、ス、リ、ト、ノ
ヲ、リ、更、レ、ヨ、リ、第、何、所、ヲ、訪、ヒ、男、子、而、今、夫、村
利、ハ、隆、氏、援、助、ノ、米、諾、テ、得、タ、リ、六、時、終、止、綿
倉、歸、而、本、ル

〔原〕
本
寅 戌

日 十 二 月 五

月 四 日 申 庚
日

晴	雨	風	向	風	速	温	度	湿	度	気	圧	時	刻

船大
星三
暖寒

終日客ヲ謝シテ外に出セス二十五日伏見を敷下
ノ前ノ口渡スリテ新カ経済論ヲ著ス

社會の自由

社會の自由

船大
雨
暖寒

日本銀行の上校成
のり後未だ新行

十時上社在幸知ミヤノ男ヲ坊に増資
に帳ノ并合セテス
針葉會社御告ノ件ノ三言ミ注シテ社長ミリ
未セシテ送船郵當ヘ來テ是迄大
四時羊出服後ヲ改メ申二日銀孫藏ヨリ格
カタル仕舞聯合 紙裁ストロロノ廣食寫
銀行俱樂部列スス成主人ノ答辭トシテ
英國 銀行組合、世儀ハ其諸ニ動、効果
中 銀行組合、知リテ時時之ヲ新スルモ亦
一時の間ハ其ルサ々別セリ且タ夜半時美
今村大尉也長ハ新ハ其、彼大國次ハ則テ
ヲガリ十時二十分ハ子ルモ時午後自餘事
ヲマツル、余裕エキヲ以テ直ニ全座ヲ赴キ之レテ
迎ヘ全座九段ノ本會、ヨリリテリル

船大
星三
暖寒

辰大
皆晴
暖寒

伏見殿下子養
はる

本日正午伏見殿下ヨリ午飯食ハ召サレタ
以テ此後丹下御殿参リ会スモ三ノ名
皆き代案出来カルノ様々モ也午飯食後
御前口邊ヲ余セシ余ハ勤カ任齊リ以テ
詰顯トアレ口邊巧モ時向首尾能之ヨリ
一御前ヲサカレリ引係キテ正金ノ由テ
奉之助新婦朝、七産話トテ辨明燈國
南ノ法元公表シ是財政上諸事ヲ話話
調讀功ニ時向半ハ更ルカ々々味セテ
毒ナキ四時返出会社主交リテ帰ル
本日ハ余生涯ニ於テ記憶スリキ一日ナリキ

辰大
未癸

辰大
皆晴
暖寒

朝十一時ニ社

池川炭坑獲得付 公衆公司 就中三井炭不
ト大会炭田トノ数年并ナリ知アリ尚全成ヨリ
全公司ノ未談トシテ内田外務大臣訪内ノ甚望
アリタルヲヤソモ本日ハ若ク其期ナラズルベキ
ヲ思ヒ寧ろ御殿成リテハ星ノ矢山半トシ全
クテ御殿セシムトス
四時半返出

無天
晴
雨
暖
寒

駐劔令白

朝丁時社弄美言島屋ノ見印書ノ行ノ
金書
工書者俱者部ノ理事キ外會合ニ赴キ俱者部
療室増加ノ件及竹得後ノ入ル件度ヲ決ス
社務病者ノ件ヲ拒ミリ得余ノ後所ニ赴キ室
役應件ノ後運基金増共ノ件及針書者公証
ハ基金増共ノ額ヲ決定ス
六時帰宅
夜ノ介ノ雨雷鳴アリ

無天
晴
雨
暖
寒

駐劔令白

甘ハ能ハカルリト
シタト余ノ話ニタリ
人オ面目トナシテ
ミタリナリト云フ

朝九時石炭金ミ助ヤ防内直ニ歸ル
十時社務會合ニ列シ事田長ヨリ財界模
様ヲ陳留又係テ理事會ニ移リ退後午九
時會合ニ移リ決ス
針書者會合ニ赴キ決ス
石炭金ミ助ヤリ見レ所ヲ炭取ノ様様ヲ
示ス

室至午九時分本防他人面合ノ際待テ即レ
ニ歸ル
二十時伏見宮殿下ニ前簡頭ノ後其席ニテ東宗
高書者會合ノ後山雲太公ノ面見ニ面白ク美シ
客様ハ金ヲ満シテ後ヲアリ昨日モ未モ即
ニ中島久方吉男ハ言明漸治理會合トナリ
午日平田長ヨリ相棒小田印長ハ近來ノ人云云ナリ堂
々一時間ニ更リ終リ一片ノ紙片ヲ持テ、迄テ三階窓ニ立テテラ

天氣
晴
寒暖

十時羊去社

十一時針並金社堂行人子矢期，配也平。

庚子年正月十五日

子復二時九少安針合紅候合血事候下妻

木社トニ
和風台ナリ
西太寺刻八分

精金井上傾舞、麻ヲヒ夫入、而合而世豐

川島宅より麻紙ヲ得

平後五時書本又、松島、坂三所集、平虎

九時半

社會の今日

天氣晴
日
雲
暖寒

生會の令

在田平里分文部三所入子

不在柳島之てふあり 和漢子 輝

千後二時四方壽安今氣自虛軍

我足也より却下高第五明半輝宅

漢地附圖

以水利、銀行、二條、宗廟、寺、五百大改着

子外丁

十一時出社理事會及保險室校會列席章役
會中明治大不可奉庫保險ノ方針ヲ決ス
上時王苦勞俱本部理事會ニ席一所得殿内預
ヲ研莫ス 柳途芳行男ヲ訪ニ報我室校主期
賞其ノ決定ス
大岩妻木氏ヲ呼ビ今任ノ財政ニ注意スル知リ
小安金ニ賜ヤ本社殿乞
出洋準備ニ於テ又介奉送
夕方雨下リ

十時四十分カ本社
午後二時迄時理主会 賣銅、シヤケート、牛古
所ヨリ申込并、賣錢、シヤケート組、借金
申込、対えん会社ノ方針ヲ限定ス
社員對シ、重役報酬金額、々々見ヲホフ
四時半迄社
政、五時半ノ決案、シヤケート夜合、而テ此

六 月 六 日 芒 種 乙 未

新大 百 晴	日 曜	月 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜	日 曜
天 氣 新 録 シ タ ル 如 リ 祥 夷 美 快 終 日	壽 美 ト 其 一 屋 中 乙 飛 舟 傍 値 ム ト ム	比 日 皇 室 皇 子 テ 合 社 ノ フ ー ト レ ス ア リ																

(丑正大) 支那大總統袁世凱殞

165

日 四 月 申 庚 巳 五 月 六

天 大 雨 暖 寒 	十時 羊占社	社長 卯タミリ 鎌倉、赴り	天 大 雨 暖 寒 	二時 牛占分ノ汽車ミテ相模、赴キテ時座置	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	トナリ 夜分 雨下らん	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	天 大 雨 暖 寒 	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨	爲、皆大雨半、流ス湯、至、後新リ小雨
---------------------------	--------	---------------	---------------------------	----------------------	--------------------	---------------------------	-------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------	---------------------------	--------------------	--------------------

164 (一一治明)あらめ宮を天皇の季二秋春 (元暦元)む認を狀越腰經義源

庚申
四月
十二

六 月 八 日

庚申
四月
十二

天候	晴	風	天
寒暖	暖	寒	寒
午前			
午後			
夜間			
朝			
日			
月			
年			
時			
分			
秒			
刻			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			
申			
酉			
戌			
亥			
子			
丑			
寅			
卯			
辰			
巳			
午			
未			

無天
星

時 辰

辰

辰

洞と社前直松京成倫殿より此夕停系
、中島久方吉男右所下長し剣シンギナートノ
ヲナリ

須田利信氏、御船身被妙、来し

中島久方吉男右所下長し剣シンギナートノ

件、并来訪両方ヲホム

我成宣授、期末衣冠ヲ浴ス

立時我成宣授、期末衣冠ヲ浴ス

料重役ヲ山日、招待し、列席ス九時半迄也

貝島、並、中島、等、招待、中島、等、招待

祝賀の会

祝賀の会

無天
星

時 辰

辰

辰

土時出帆

午後一時半より、臨時理事人会、中島男

親類、并、中島、等、招待、中島、等、招待

并、中島、等、招待、中島、等、招待

世里川、并、中島、等、招待、中島、等、招待

ル、中島、等、招待、中島、等、招待

中島、等、招待、中島、等、招待

須田利信氏、御船身被妙、来し

、中島久方吉男右所下長し剣シンギナートノ

件、并来訪両方ヲホム

我成宣授、期末衣冠ヲ浴ス

立時我成宣授、期末衣冠ヲ浴ス

料重役ヲ山日、招待し、列席ス九時半迄也

貝島、並、中島、等、招待、中島、等、招待

陽 正		陰 辰		魚 天	
				日 六 十 二	
				記	
				新九時豊川た雨、戦、持し直之、参り三時	
				三時より息子川取、リリリ以てお社五時迄、主	
				ルモ山戦、行て銀座、夜更、夕聚會、トル七	
				時、又、参り、周キ、三、五、十二時迄、七	
				書り、参り、リ、参り、四日、打合せアリ	
				三時、参り、散髪	
				中島久吉、公、来、洋、館、戦、会、社、リ、リ、確、メ、行	
				合、主、会、公、来、訪、昨、日、理、主、会、決、行、戦、セ、リ	
				傳、フ、合、決、行、き、方、リ、リ、解、リ、リ、解、リ	

陽 正		陰 辰		魚 天	
				日 五 十 二	
				記	
				十時、羊、古、物	
				十一時、理、主、会、リ、解、リ、リ、解、リ、リ、解、リ	
				此、除、三、妻、ノ、フ、ア、イ、ナ、ス、ハ、新、シ、モ、他、キ、後、解	
				リ、解、リ、リ、解、リ、リ、解、リ、リ、解、リ、リ、解、リ	
				リ、解、リ、リ、解、リ、リ、解、リ、リ、解、リ、リ、解、リ	
				又、日、校、抄、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ	
				リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ	
				後、豊川、公、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ	
				中島、久、吉、公、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ、リ	

庚申年四月
二十八日

十時羊女社
午後二時十分平岡支太郎氏井屋彦田幸三氏
本宿一應其儀ヲ了リ植松夫人葬儀ノ當日
ニ毒美相振テ序東京其ノ告別式ニ可升タ
メ二時羊女リ般外ニ符合セテ以テ平岡氏
ト明日一時ノ由合テ初シ毒美ト共ニ植松氏
ノ全葬ト共ニ皆一禮拜シ終ル
咲久良子於ハ七時豊岡氏宅ニ升テ通夜夜半
ニ至リ川田正澄ニ女ト全京婦在ヌ

(三治明) す許を來往の民庶き関を門五の北西城皇

173

實壬

大氣 昆蟲	寒暖	十二時 羊 世 夏 川 成 宅 每 辛 九 時 羊 歸 宅
大氣 昆蟲	寒暖	十二時 羊 世 夏 川 成 宅 每 辛 九 時 羊 歸 宅

176 ハヒハ一、議會ニリルベ (〇一正天 ゐらせ執秀光智明 (元仁元) 歿時義條北

暖寒

十時羊出茹

十二時工業便所部 理事長會、計キ
竹得枝店、室付正、牛付根、誤ス
貯金、銀錢會社、立入り、多、田直、廣、女、松、供
〇一三、六、川、三、付、ト、打、合、ヲ、ナス
四時、辰、去

暖寒

朝栢心宮氏孫妙見工

朝樞密京氏 瑛妙、見エ
此衣より氣合要おりに不外也セス

氣天

雨

暖雲

時

日

朝支利天本にエビノ地知五山近値ハシ
来リタリト事ナモ而登江如ヲ洞ニ遠病ナカラ
期セシム

え介不面白リ新ハ差長

此夜十時置雨カト更リ大化ノ地キ音響下
リ翌朝ノ新ゾミモ此音響音ハ詠ルモ何ノ
疾変モナシ自分ハ地獄火其庫ノ爆炎ナ
ラズヤト思ヒタルノ隙石ノ音ナリタリノ新
貝工

〔原〕
成流

〔原〕
成流

氣天

晴

暖雲

時

日

十一時五社保協会代官校会列ス

仙石支所ノ紹介可成果ナリ見ス上田ノ降
針ニ致中野匠次郎ナ有任田針ニカハ件
ナリ市親ヲ針者会社保協会ノ後ニ送基ノ行
カヲ田洞ベシム

山本金一氏本訪

竹田俊成氏青島東洋製塩会社ノ件ニシ
本訪

四時半迄也

天正
壬子
八月五日

八月五日

附録(全)

十二時出社 査査 澤長ノ朝告ヲナリ
午後一時重役 朝顔并ニ辰藏 手札金持
此ノ用ニ社以ト帳渡スルアリ
又業公論社長中村美忠(幸得)ト合見ス 本人
辰米ノ金金ヨリガ為也
三ノ川 銀市ノ武次轉仕ノ件ナリ
又ス
本日 中元ノ多ク多ク
五時退社
本日午前十時 羅馬尼亞太子カール殿下入京
白皇太子殿下ノ用度兵使下トテ全京 騎兵 羊中
隊牧ノ護衛ヲ圖 離言ハスル

天正
壬子

八月五日

附録(全)

八月五日

附録(全)

十時出社 針世合 社重役合ノ列席 今朝ノ
以支善ノ帳並社長并ニ見ル
四時帰宅 五時朝鮮ニ上京ノ西朝鮮 銀市
か美田直治々山本房二部ノ合テ 布取 銅屋ノ指
キアルノ金如ク至リ 洛席トシテ三石川ノ三石
々々二箇ヨリ至リ 武蔵松次々々 野中ノ人十
リ主重役散後ニ至リト用基 十一時半
帰宅
神ノ久保ニリ 長田耕地理ノ剩余金七
百金 園邊ノ人ノ教アリ
社長 師長ノ人

天気

雨

風

北

天気

晴

風

北

正午近ハ曇天アリモ三時頃より大雨車軌
ヨリ又和シ

大工等本郡本訪北云より上今朝下庄
有ヨリハ又晴過ハ依リ廊下中何カ不手間三
十人ヨリ五十人位ト来リ交費ハ支利内至
一刻五分端ハ朝砂ニテ全人ト交員ハセ九月
ヨリ有午ノ手トス
水引ハ佳果良好ナリ
四時四十分下山七時五分国再津登九時六
分東京驛着九時半終

天気

晴

風

北

天気

晴

風

北

晴

依多ノ未和夜朝ハ風陰ノ午後ハ無風金
中ノルハ和シ

二時止社

嘉

二時社止ハ依リ列席及本も手常宿ナリ綿
布解合ノ中ホナリ取込ノ要領ヲ得セハ更
シ後分取本又ハ中下段柳瀬帯花ノ寄長ト
打合セヲナサレハナリトス

依多手元金(使用人)ハ常宿(取綿役トナリ先
除ノ手金ヲ除キ反松ノナリタル所ホ之ニ取
込メシメ自分ノ付カズ額松八百四十圓ヲ領収
シタリ

立時辰出書美内田山太叔女百日幸ノ行金
ノ自依車ノ金安シムルナリ

此朝大川平は成来月(日)依見九ノ一依見
午暇之ハ見六

庚申年五月五日

總 變

隱 微

通天

晴

暖寒

王會全

十時羊去社

此朝禪師集卷之四
方丈炭坑外岩所創已

杯棬助成。座率而布之。乃不在焉。

以下送外日長し交子以下都合三ノ日取

九十六日丙午

幸

四時白去白袁漢六子薄船竹板飯、防丁

(七三治明)す撃砲を地留居我てに沖山八隊艦艦浦 (元元延) 外戦年相名 100

日九十二月六

月 廿 日 申 時 戌
巳 酉 十

理火

06 20

0.25 0.50

1 年 5 月

晴

暖寒

社會の今日

一時去社

奥村塾業開校ヨリ全保の恒例ヨリ

世宗王 輝金 林權氏 子 番介 弘邦

前アステールと云ふこと、席在、中、テ不在

皇正統六年
鮮於樞

188

(二三治明) 予工竣線電底海間灣臺地内

陰 雲

陰 雲

無天

晴

暖寒

（時分）

（時分）

十一時止社終日社終ノ顔ヲ見ズ
社会ノ収支勘定、并ニ名簿、又道電氣会社
ノ目録見テ、調査シテ江ノ成ニ出ス
項亦事々々々ニ出價ノ三三針書方
ト雨江松溪シレキヲテテテテテ
四時半終也
新居ト夕空、大川もたへまぐ
大川、夕空、大川もたへまぐ

陰 雲

陰 雲

無天

晴

暖寒

暑氣持、遂ニ十時半止社
此日林義典大使、石井駐米大使、年集、前
駐米大使百仁、無銀、長友、席一、高輪、在、
知、又別、歐、一、意、結、一、半、餐、食、一、根、キ、
一、以、一、一、半、午、食、給、キ、リ、江、に、年、田、武、田、一、三、
青、不、一、本、池、坂、本、々、果、行、席、席、キ、餐、食、後、周、
三時半終
飯田此太郎、様、お、本、訪
高橋、多、事、会、社、キ、お、名、件、一、社、長、陸、
一、一、リ、又、理、事、会、キ、一、見、一、リ、并、明、及、
知、
五時迄三三川、春木、一、所、キ、一、ル、同、基、合、一、
三川、春木、一、十時半終也

常 變

自來水 抽水

新天

晴

暖寒

王命全圖

旺會の全一

十二時迄社直、理年合、修席、製鐵會社ノ
造の煉炭、及銀行、支那炭、并ニリル特別
前印ノ是ニ認ス
奥有、蓋、其ノ深、長ニリ、野城ノ界、其ノ水、電、其ノ力
余、其ノ口、並、猶、苗、ハ、其ノ水、電、其ノ力、口、又、ル
ミ、見、其ノ力、其ノ水、電、其ノ力、口、又、ル
社、其ノ水、電、其ノ力、口、又、ル
其ノ水、電、其ノ力、口、又、ル
其ノ水、電、其ノ力、口、又、ル

庚申年閏五月初三日

○ 八 月 七

關木
如丁

健 變

自當 一試

氾天

晴

暖寒

十時羊玄社

社長三宅川ヲ拓キ墾テ今社改メテ長井ノ仕設
根柢の強サノ必要ヲ説キ之ヲ主合フ終テ七十
四銀行救助ナリ高橋ヲ相リ依頼アリタヒ之
ヲ海他シ今時東京不銀ナ金銀合同、政府
ヲ差込キ事ヲ進ニシ亦相英ヒテ之ヲ話シタ
ラズク
高橋南幸常々ハ丁ニ社長友デイレタルヲ先
ナリ
哉丹友貞哉事訪之ヲ三好銀錢常々ハ信
介公時合ハ墾ヲ知ノ日向、不炭貞平及分已
三番其ハ若林釘葉間查涕長、分レ直格
丹バ、及事セシムトス
五野良也

天
日
書
西
暦
癸
巳

池田八兵衛上京
平川母往安作
来訪

十一時止社

三時より坂幸合、辰景十月以後ハコシ
ミシヨ基礎トスル事ノ条件ニテ現時ノ限定
植殿ニ石炭カナル沢沢洞フタル事ヲ右ハ
昨日、社長及坂幸ヨリタリ、各四
會村、北、京、山、田、及、師、全、伴、井、陸、接、坑、附
近、洞、査、報、告、ヨリ、垂、石、ト、テ、其、万、円、投、下
ノ、ハ、合、意、シ、置、タリ
工、後、秘、主、氏、ノ、身、ハ、山、シ、社、長、ヨリ、武、田、氏、ハ、分、子
ニ、依、頼、セ、ラ、ル
四、時、半、稀、屯、六、時、頃、ヨリ、雨、沛、外、ト、モ、来、ル、再
美、中、野、ノ、心、田、余、田、ヲ、見、舞、ヲ、稀、ル、舞、美、ハ、一、日、日
未、知、る、予、三、日、ハ、日、モ、訪、問、ヲ、要、ス、ル、而、モ、各、供、ハ
マ、ハ、レ、リ

証書
の
全
白

証書
の
全
白

強風砂塵ヲ飛ビ終日外出セス

天
日
書
西
暦
癸
巳

強風砂塵ヲ飛ビ終日外出セス

厚月
术辛

十月十七

庚申年四月五日
二十七日

新天

晴

暖寒

土時社務事合仕宦候合及此時格合
高村疎次氏常智取侍役、當座不
五野并宅

202 (七正大)す死名餘百六沈爆てに澗山徳内河艦戦(三久建)るなと軍將大夷征朝頼源

社會の今日

天無

靖

暖寒

池田恒久馬介未社知在取福、戰告スル
子後四時、赤坂、三宮、美木、沼々置キ
クハ、以テ之、其々、風、暮、三、村、成、一、國、川、席、
了リ、丁、時、半、第、七、
是、分、宮、村、本、口、柏、千、道、發、取、打、費、七、百、圓
也、永、田、新、名、成、一、段、廿、二、(ナ、知、午、)

(四四治明) 定改約條盟同守攻英日 (〇七八一) る起爭戰佛普

203

厚月
术辛

十月十七

庚申年四月五日
二十七日

新天

晴

暖寒

土時社務事合仕宦候合及此時格合
高村疎次氏常智取侍役、當座不
五野并宅

202 (七正大)す死名餘百六沈爆てに澗山徳内河艦戦(三久建)るなと軍將大夷征朝頼源

氣天

晴

暖寒

天者陰ノ日中九ノ交 朔中野思夜々来訪
十一時出社

社中ノ三ノ交々 参興上ノ度 伍主ノ云々 思職ノ 苗
音不

三時退社 余改河敷九時帰宅

此朝平河竹川所別邸ノ故 芳太郎男ノ遺骸
ノ遺別ノ以夕神ノ云々 瘞瘡ノ云々

夜令小不祖々来訪

〔家〕
西 癸

氣天

晴

暖寒

〔家〕
西 癸

今日モニ 天者 其云々 九ノ交々 以云々 昇リタルヲラン
十時半出社 針葉金社ノ主役人ノ列ス

工員ノ辞表ヲ呈ス 社中ノ振替金社中ノ振替金
計八千圓ノ外 恩給年額計五百圓ノ計ス成

ハ不日天者工員金社中ノ取替役人ノ云々
様部 云々上ノ件ノ来訪

国平中領金 叔母差金ト云々 五百圓ノ勘査
子教育費金ト云々 五百圓ノ勘査也云々 勘査

田中ノ師ノ送金云々

五時帰宅

夜令地田中ノ馬ノリ 山住云々 件ノ件 而電報来ル
ハ東京ノ新聞ノ平河太郎ノ云々 支那版ノ端

ヲル

氣天

晴

暖寒

天者陰ノ日中九ノ交 朔中野思夜々来訪
十一時出社

社中ノ三ノ交々 参興上ノ度 伍主ノ云々 思職ノ 苗
音不

三時退社 余改河敷九時帰宅

此朝平河竹川所別邸ノ故 芳太郎男ノ遺骸
ノ遺別ノ以夕神ノ云々 瘞瘡ノ云々

夜令小不祖々来訪

五

十月十七

庚申年四月六日

天瓶

曉

暖寒

朝九時倉庫會社ノ東品又店主外人小不
今十時半倉庫本部長挨拶見ユ
一昨壽栄会道地田員を召付座不知有地知
富、地知見令、到り急付ハス序、地知伊介人
アリキ座　ノモ主交リ全人全件有工あり地
知二十知、石川会金高所、又棠鶴、地知ヲ見ル
岩成則知、地知中座、南者ト秀フ依テ其ノ義
ニテ早川勝面、池田依久馬、連知シ全時州人、
中スル鶴鶴ヲ又ス
六時半壽栄会会道帝刺、吾キ兩ノ夜及十天
下ヲ觀ハ十時半終也

203 (二正大) ろらへ加に日祭祝を日祝術長天 (四治明) 置設省部交

卷之四

天氾

晴

暖寒

夜直田ヲ大坪ノブ
キ屋ノ近イヌ

朝十册羊虫社
夏村利天平

池田依久馬士一時來社昨日見介、地冬、幸、
又合人、早川、母ト共、ノ而士、ノ介、地知、宋屋、修貝、ノ若
ナリト云フ、ノ後、其、依果、母人、満是、ノ片、語、ノ直、ノ云、
タ、ノ方、電、ノ話、アリ

日本居全社、窪田四郎氏、教師長木下氏、
金伴、末訪、南望全社ヲ改造シ、資本金一千七百四十
レ圓有リ、以上ノ株ハ、株主ノ募集ヲ要ス、今五件ニテ從
未ノ円麦株ヲ、証書セラセシト、依頼アリ、於以テ、上
田、大工、下、千、島、島、年、ス

若予所欠利橫川三石一畝，翻天共應生
，約三百五十兩考，印情限，約十町年工費約三
百兩用，此益約斗百五十兩，壬午年成五，五町還云

(○四治明)位讓帝皇國韓 (元治元)突衝派幕佐派浪摩

209

五

十月十七

庚申年四月六日

天瓶

曉

暖寒

朝九時倉庫會社ノ東品又店主外人小不
今十時半倉庫本部長挨拶見ユ
一昨壽栄会道地田員を召付座不知有地知
富、地知見令、到り急付ハス序、地知伊介人
アリキ座　ノモ主交リ全人全件有工あり地
知二十知、石川会金高所、又棠鶴、地知ヲ見ル
岩成則知、地知中座、南者ト秀フ依テ其ノ義
ニテ早川勝面、池田依久馬、連知シ全時州人、
中スル鶴知ヲ又
六時半壽栄会会道帝刺、吾キ兩ノ夜及十天
下ヲ觀ハ十時終也

203 (二正大) ろらへ加に日祭祝を日祝術長天 (四治明) 置設省部交

庚申年六月
六日

王念孫

211

用土

晴

210 (六二同) 去覺視具倉岩 (三一治明) ず贈遺を位一正に成正楠

天
全
木

日
全
木

夜来、雨而漸りた時、霞目先ヲ論ス
土時、本社

来時、三廿五、令ノ汽車、箱根、白ヶ
土

久利、ヤ、田中、座ノ吹、服、衣、本、内、シ、ト、ミ、テ
食、及、若、林、ガ、公、京、セ、シ、四、時、半、公、知、其、
若、林、ガ、ト、其、養、島、村、金、次、郎、氏、後、ト、平、ル
久、利、ガ、ハ、其、月、吉、岡、針、山、匠、師、ヲ、退、職、シ、タル
仁、ニ、余、カ、明、治、四、十、四、年、二、月、吉、岡、エ、テ、隔、キ
カ、ス、ニ、催、リ、名、除、地、原、ノ、南、エ、シ、タル、人、四、束
談、九、時、半、迄、哉

天
全
木

天
全
木

日
全
木

夜半、大雨、驟、至、リ、テ、止、ム、後、ヨリ、皆、晴
十時、半、熱、川、水、有、平、リ、久、奈、ノ、新、水、ヲ、詳、ニ
ス、キ、答、ハ、ウ、セ、ッ、ス

四時、星、川、ノ、四、島、ノ、行、キ、金、陵、ノ、在、ノ、ね、福
又、洞、春、ノ、小、島、三、福、ヲ、購、フ

天
晴

暖寒

十一時出社

筑前各處玩粉黛過氣件件陳宏製造方針葉常留三卷代注意參不

田原ヨリ兩江支村地知ノ件アリ

三宅川 燕 怡寧 曾 三 海 屋 有 文 侍 額 末 候
分 予 九 百 万 圓 増 小 且 近 矢 官 却 也 来 利 名 音

今一に交修大下と名を授けり

奈田芽太郎公王升社会應酬ノ件作威田ノ
津田ヨリ成行勸告ニテアリ

四時辰

身業新株、計五十五匹、新株、計五十五匹、

天氣晴

暖寒

低き月本海より安き者復加はり十時止社

全五卷合社、張會、候席不

田原子より夫村地を、本年相談すまう

四時直出平川、舟人ヲ誘フ不在。尋乞北田根公馬
ヨリ、聖德寺項、余々ト夕人ト与テテテ行處ニ致合

不壞

氣天

晴

06 寒

社會の今日

十二時去社食後三時成ニリ馬車ニテ松田ニ合會ス
果次長後任トシテ中野中々成申妻ケタキヤ妻少子ト云
ヲツク
美介ノ話ノ貝島翁迄モ却ノ件ノ中社長ノ意命ヲ允スリ
ク江田氏ニ依頼ス社長昨日ヨリ強急ヲ赴キ休暇前會
合機ナキヲ以テナリ市三村氏ノお蔭望ミヲ通ス合会モ亦
大ニ之ニシテ成メ三時迄出潤髪後品川母人ヲ訪フテ
帰ル
夜分美介未訪正夜箱根ヨリ歸本

天氣

晴

暖寒

後
字

朝拍余ノ角田氏、高橋陳父、及此船ヲ持テ急ハ急ニ來テ、

午正則ハ晴天ナリトモ午後ヨリヒレハ強雨ナクテ雲衣
ヒタル寒風ノ中ハ漸次促少ヨリ柔エスルガヤシ

予後天^ノ子^ノ良^キヲ^ハ、壽^ス美^メ及^ツ祥^シ理^ス人^ノ公^ノ董^ノ仙^ノ石^ノ奈^ノ
ノ下^ノ流^ノ射^ス岳^ノ虎^ノ蓋^シ同^シ吾^ノ氏^ノ、茶^ノ奈^ノヲ^ハ視^スル^ヲ瑞^ノ和^ノ八^ノ宗^ノ川^ノ
ノ凌^ス流^ス、重^シ信^ス、前^ニ、其^ノソ^ノ名^ヲ灰^ノ杯^ノヲ^ハ扣^スヘ^テ奈^ノ石^ノ、^ノ蘇^ノ楠^ノ
又^ハ下^ノ錦^ノ金^ノ、驛^ノ西^ノノ名^ヲ品^ノ、口^ノ立^ス時^ノ、^ノ須^ノ端^ノ、^ノ瑞^ノ在^ス。
夜^ノ羊^ノ下^ノ弦^ノノ月^ノ東^ノ天^ノト^ハリ

庚申閏六月
二十一日

天
皇
御
覽
記

後三時迄、孝美公遊座所成、却て訪門主人、夫婦
却内々來内せられ、却内別へ水ヲ川ナ深布テ設ケ環
様一変矢面也。復タ此午ヨリハ余程ノ整頓ヲ見ル
夜介震雷強雨落雷知ク見エ

(八三治明)見接員委權全國兩露日 (八五八一)通開信電底海の間米英

227

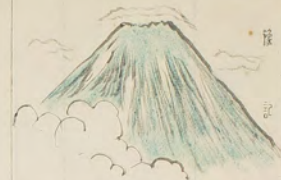
水曜
午日

[illegible]

226 (三正大) す戦宜に逸倒に共英佛(二三治明)す許を居領地内の人外

226

晴
暖



天多清朗風涼し早雲山登山ヲ思ヒテ弄美、許理人
ヤ中、ヨハ公伴喜き拜奉ミテ九時参リ二時頂上達
ス頂上ヲテテ下リタル知眼前、美甚き峯ヲ望ミ眼下
大瀧谷ノ煙々煙ヲ視ル風景佳妙ニテテ餐食ヲトル
頂上ヨリ相ハツ嶺和ノ内ナリ小田原ノ市街酒匂流レ大
磯ヨリ遠リ三浦半島ニ至ル海岸ヲ望ミ白線ハ波浪
ノ打テ交スモノ風矢直ニ及バズ山麓長石郡坂ノ谷全
テ往復トモ休憩花チノ床集ミテ四時頂上ヲ下ル
ナリ清遊ナリキ

晴
暖

晴

朝ハ好子南洋タワオ右知熊田武野作職ヲ
為メ未レ知、機操ヲタク外夜修列車、テ未
奈國亦洋停車場、而賦リ今暇一方ニ登山未
ク朝飯ヲ終ヘサル類、ハ瓜名ハ合キテ餐食ニテ
カヘス午人今夕未ダ参ノ者
岩崎庵休成夫人、今名、今候、今伴未訪
午後ヨリ雨外カスル得ス
夜分雨止、陰ニ奈内ト微策ヲ振込、即未答
返歌ノ声ヲナリ更似ノ橋産セ交ハレリ

庚申年四月十六日
元 十 五 日

航天
 雨
 暖雲
 今日、晴天ナリト思ヒ、外朝、暇ヲ満テテ直ニ
 西トナレリ
 正午、奥村ニヨリ、九日癸ノ書面、到達、北樺太炭
 田ノ件、々、海軍省、自今ノ出頭ヲ、望望ニストノリ、
 々、明朝、一ツ婦人、事ニ支々

(七正六)るらぜ任に官令司平遣派鹽浦將大軍陸谷大 (四治明)布發令刀廢髮散 231

月 六 日 庚 戌 日 四 十 二 秋 立 戌 戌

氣大
 西
 暖雲
 日
 朝未大西ニ移候ノ外ナシ
 再び此助成別却外臥夜ヨリ今日カケ自病年
 二台各段ノカメ主往生ナキ人夫ナ數人ナ在ヒ
 来リテワツレヨノトナレ揚グルノ俵箱振ラフテハ
 只エヌ因リ夜半漸ク感知ス
 三日友人ト自土登山シタル正夜ヨリ猶書ニモ未
 ル一信ハ大西ノカメ目宿リ二信ハ陸風雨ノカメ合
 目以テノ登山ナキヲ知ラレテ下山ニ至テ天宮寺生
 治南郷京通ニ登山馬乗テハカル月申未ナリ
 夜分成候正行々相承安代候ハノ西成ノ門前ニテ
 今合空晴星斗輝々明日ノ晴天ヲ神相ニシテ
 賦ル

230

(三正大) す陸上に義耳白部一の軍英

氣大
羊 子
暖寒

陰 陽
陰 陽

社の告白

而漸ク寄ル七時四十分元妻町美公道下山
国津津近松永宿内宿内宿公事ナリ時四
十五分中央驛着直ニ出社
奥村分ヨリ海軍省ノ模様ヲツリ
四時退去
海軍省ノ介来所政務長ノ其ノ其見島分
三件差ナリ会社ニ買収ノ意向ナキヲ談
リ置タル所ニ爲メ介ノ返却

氣大
イ 子
暖寒

陰 陽
陰 陽

社の告白

十時止社
午後一時海軍省ヨリ自分召喚トノ電話ニ
介奥村等全五頭山口方降ニ面会ス方降余
ハ所スルモ夕自介ノ去後ヲ煩ハスノ際ニ近ゼス
四時退去
海軍省ノ介来所政務長ノ其ノ其見島分
三件差ナリ会社ニ買収ノ意向ナキヲ談
リ置タル所ニ爲メ介ノ返却
トノ差ナリ
五時退去
海軍省ヨリ泊ス

風入
皆晴
暖空

日
家

十時半出社
海軍省より京市に社長、報告し、高会館に
一、六、未朝に便より方集付、奥本并、後、同種
大下、眼、議、又
石田、牙、太、部、会、退、社、若、開、多、合、称、知、の、後、夕、
見、不、

九時退社

朝鮮官邸、未、村、莫、近、相、看、る、病、地、ス、ノ

称、及、ト、半、百、圓、に、テ、思、ふ

夜、介、近、為、莫、一、未、訪、十一、日、上、旬、社、ヲ、参、見、

少、心、社、ノ、合、ニ、ト、ト、ナ、リ

正、夜、箱、根、ノ、箱、者、ノ、致、ア、リ、
退、根、合、社、ヲ、海、軍、ノ、交、渉、中、ノ、清、見、金、ハ、決

分、九、百、万、円、ヲ、退、加、下、度、シ、奉、ト、ナ、ル

〔原〕本
寛政

社長の旨

風入
雨後晴
暖空

日
家

朝、未、雨、後、金、ノ、雨、十、時、半、出、社

専、美、士、時、ヲ、十、五、分、ノ、致、車、ニ、箱、根、ノ、中、

午、後、一、時、社、長、ノ、櫻、井、枝、師、長、父、島、根、不、校

合、直、改、者、是、令、為、深、川、別、郎、ノ、致、リ、午、後、三、時

社、

此、朝、理、事、会、ア、リ、ク、ニ、モ、談、ス、ガ、モ、ナ、シ

如、知、部、中、立、ノ、九、百、万、円、建、造、机、ノ、件、余、ノ、
社、長、

未、事、決、ス、ル、知、ア、リ

参、興、島、村、金、次、郎、父、ノ、社、長、太、上、成、ヲ、命、ス

九、時、退、社

風入
皆晴
暖空

日
家

十時半出社
海軍省より京市に社長、報告し、高会館に
一、六、未朝に便より方集付、奥本并、後、同種
大下、眼、議、又
石田、牙、太、部、会、退、社、若、開、多、合、称、知、の、後、夕、
見、不、

九時退社

朝鮮官邸、未、村、莫、近、相、看、る、病、地、ス、ノ

称、及、ト、半、百、圓、に、テ、思、ふ

夜、介、近、為、莫、一、未、訪、十一、日、上、旬、社、ヲ、参、見、

少、心、社、ノ、合、ニ、ト、ト、ナ、リ

正、夜、箱、根、ノ、箱、者、ノ、致、ア、リ、
退、根、合、社、ヲ、海、軍、ノ、交、渉、中、ノ、清、見、金、ハ、決

分、九、百、万、円、ヲ、退、加、下、度、シ、奉、ト、ナ、ル

〔原〕本
寛政

社長の旨

風入
雨後晴
暖空

日
家

朝、未、雨、後、金、ノ、雨、十、時、半、出、社

専、美、士、時、ヲ、十、五、分、ノ、致、車、ニ、箱、根、ノ、中、

午、後、一、時、社、長、ノ、櫻、井、枝、師、長、父、島、根、不、校

合、直、改、者、是、令、為、深、川、別、郎、ノ、致、リ、午、後、三、時

社、

此、朝、理、事、会、ア、リ、ク、ニ、モ、談、ス、ガ、モ、ナ、シ

如、知、部、中、立、ノ、九、百、万、円、建、造、机、ノ、件、余、ノ、
社、長、

未、事、決、ス、ル、知、ア、リ

参、興、島、村、金、次、郎、父、ノ、社、長、太、上、成、ヲ、命、ス

九、時、退、社

臘月
午時

日六十月八

庚申年七月
三日

天魚

晴

暖寒

读

記

日中ハ暑気陰ケレ共朝夕ハ風合亭ニ
十時羊出社

十時羊出社

正長一書入世十年，公藉騰卒，依賴，電信。

歷下碑文卷八

野本吉本訪

四時羊退去

郭祥隱叔

復劫、介族抄、午戌平ル冬祺ノ書面ニ差

出天

王念孫

社會の今日

船天

士
七月

暖寒

十一時

攻本、高木、高木、高木、及田中丸、木匠料長

三 棒太京大演習林柿川件介 詳細より

子孫に取し之と今五男子興つ

午後四時半品土降金今并取銀笑四氏

行也六明經在

同治五年三月

陳天
米丁

日七十月八

庚申年七月

健 變

自當 投

(七止大)禁解事記機駭 (七三治明)す絶拒を降勸將敵の順旋

239

238

(七正大) 布公令用收物穀 (七三治明) る人に頼旗佐少岡山使軍

風天
曇

暖寒

野々蕪雨アリ大養義殺白河經祥子
ノ世全標下諸メ長岡温泉二年庵ヨリ送
ラル

銚田祐吉氏本社カレレ成ヘノキ成ノ署名ス
三木正夫氏樺太ヨリ樺本該地ノ樺樺ヲ
五野退去ノ事
浦根ノ壽美苑ノ村内今ノ祖査取者有リ却
送ス

田舎の白

田舎の白

風天
雨

暖寒

十時四十五分迄社
為ノ懸雨下リ九州麻門大出水高知
市ヲ襲川祖陸被害大ニ様ヲ
孫田得三氏ノ上并ノ主奈夫人ノ件ノ本
訪

四時半退去
孫田知太郎氏及三木正夫氏本訪

十五ヨリ交通江泡
午前十時ト同キヨリ本電ヲ
午前叙田正太郎氏江に於テ訪ニ余全席全
氏前迫接物ノ件ヲ詳フル也アリ

風天

曇

雨曇

東京ニ於テ本スルヲ期待セシムルハ大島ニ
リ轉回シテ西北ノ向ヒタルヲ以テ東京ニ其果成
マズシキモ昨夜未祥ナハ暴風ハ船泊ノ被害
多シ

十二時ニ社直ニ理事會ニ臨ム國村氏ヨリ北辰會
及ニ坪太炭田ノ報告スル也アリ
昨日坪太炭田ヨリ坪太爪水害ニ落合流木ノ
被害ハ七百六十内ノ六割ヲ占メ坪太木柵恒
常ノ被害ハ高石ニ至ラズスル也アリ

四時區々

同本館ヨリテ諸騰本ヨリ来リ高知市水害
環境合セテ被害アリ坪太ノ水害ヲ以テ今時
村ノ被害ニ及ハニ番田村同様に方々被害スル也ハ
解マレニテ死亡被害者ハ存分ナリ未ル

松村選後ノ水害ヲ云ス

風大

晴

社別全

辰

曇リ時々小雨ノ時々驟雨アリ(北辰村)
一時止社見島ニ四時能ク太市ノ兄弟族
以テ三井ト妻炭田全社分離スル上自ラ
テ飲食ヲ共ニス

田舎氏等三ノ入江雄乃河太勢整理ノ村長
相議見エ給行渡船ノ手取ノ一部ヲ買取ニテ
株主役株ノカ方ヲ注意ス

島内登老氏等亦在分ニ神奈保氏等中ニ
ノカノ對シ互事ヲカカトスニ未ナカト合局
前ル

手田真一氏梁井地如ノ件ハ事汚其信ヲ
謝シ依頼スル也アリ

島村金次郎氏廿四日坪太而出スルノ氣者見エ
丑時迄モ夜分從川ノ水ノ本ル

風天
曇

暖寒

昨夜一催、介二種、茶、バニ、拾、園、ヤ、中、拾、園、後、
リ、白、科、ま、み、七、因、余、う、又、松、う、一、行、内、松、生、
大、師、已、居、残、リ、え、箱、根、う、見、知、更、校、砂、
来、ル、面、ま、う、な、白、ヤ、レ、ム
夜、合、三、六、二、五、本、所、政、事、三、保、ミ、テ、既、
跡、及、松、葉、三、人、
羊、野、林、(一、張)

上巻全七

下巻全七

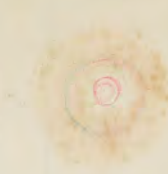
風天
曇

暖寒

時々驟雨アリ
松葉屋大師午後野系

風天
曇

風天
曇

天気 曇	風 無	湿度 70%	気圧 1013hPa
			
時々驟雨			
朝十時川野末方本坊婆工村夕狂言上国雅			
音最後、救助う然情ス之ヲ諾し奉月三日東条			
ニテ合見ヲ為ス			
草比青四市々米坊			
夜半雲晴し翌月月中矢ノ懸たり爽快云々リ			
ラズ却て美政条、岸ヲ伴ヒ公園、散策して之ヲ			
賞ス			
小夜更けに望月さゆる椅うたお寝ふたりまで			
玉と久々ゆふ小			
満月雲より圓形ノ虹をみす			
露白し虹を後光り初まり月			
夕陽照りて月よりうかづ散策かふ			

天気 曇	風 無	湿度 70%	気圧 1013hPa
			
出たて秋みなる			
興法へて			
山の鳥み合へて			
月の夜けぞ			
北へ三十日くらゐ			
まゐりて出で家へ			
なり			
時々驟雨			
朝十時飯田止太郎本坊自家ノ本新状ヲ所へ後			
助ヲ之ヲ先ツ資産負債ノ明細合ヲ呈出スリキ			
ヲ答へ其様様ヲ答へて公情ヲ以テ詮議スルキ			
ヲ返事ス今成感謝して云ル			
午後一時毒美公庭小桐吉ヲ往候自富来ニテ			
社長ヲ停ヲ退席、湖畔ノ別邸ノ内ス道道ヤ部			
花ノ盛ニテ手震リ社長に女夫婦ヲ滞在降西			
一時川半モーターボートに遊ラレ六時帰宅			
八時毒美政室ヲ伴ヒ庸休夫人ノ東遊ニテ大倉			
妻七郎山遊太成儀ニカレ今井慶松ノ演説			
合へて下向士会、略々外合者外人ハ予ヲ以テ服			
は及罷席リしニテ十時半帰宅			

大興 縣志 卷之四 日一十三月八

庚申四月十七日
十八

一天

晴

暖衣

天長節
相禮

書美座牛、
知、後、
為、終り

小林善太郎、植木孫策及植木茂七月末日迄

分三百六十八筋支松ノ

病介々云々月満し

(C四四) 報時約協路英日 (二一治明) 誕降御皇天上全

253

月七甲申庚
日七

日十三月八

月
中

時

暖寒

久振リノ何天スナリ

法

宋何天人合碑三人夜作太卷上其康作其弟弟

更へたり。十分位を自
動車と大塚へ帰る

シタリナエリ後タリ如クモハ山田豊伴父ノ底タリ

天竺相、愛山、王、まうし、名、す、

夕景明星山，中腹二十六夜，月荒忙麗已。

カラス一今ヲ松トテ之レヲ觀セシム

正長今朝歸京

(六五八一) す死スツロ、ソヨシ、一サ家検探極北

252

製を禁じます。

九月三日

庚申年七月
二十一日

氣天

2

暖寒

社會の今日

氣天
日月云
暖寒

出峯迄大耶と後本社
日夫墓知ハ隣地ヲ
田圃凡ニ畠米穀重閑
好シ、自今于供ノ外亦
リ是等參々之禮置メ
甚モ隆盛ニ在リ立
ホキ背セ入列正卿
トテ、ハレハ年々
輕降、而モハ於ナ
合ヒト本件會
古川庄主平運理係
トシテ余ノ計與ツ山
手百々ノ國共、歌和廿
人、廿一人也。

朝八時羊矢村利々隆氏より高村安治郎氏
来訪高村、司向ハ万手茂ノ会社ヲ建設スルハ
社長トナルヲ株ヲ以テ名義ヲ貸サレタリト相
談ス
十二時出社理事會ニ臨ミ潜水艇大天ノ模株
ノ件ヲ議シタルヲ石氏ハ説明セラル
午後宇川水電典銀借用金支度學務保
証件ノ件針井長船田氏ニ注意ス
有村多事常務ノ東大ト契約締結ノ件確立
前田中丸木新諾茂ヲ澤太ニ出放マレルヲ決定
十二時退社
午後六時遊船会社山ノ稻草ニ臨ミ堀谷氏
ニ會見スルヲ九時半終ル

(三四治明) 定制制官府督總鮮朝 (七治明) 定制則規便矣

(七治明) 定制則規優弊

257

日 二 月 九

附錄

氣力

19

暖

[illegible]

午後二時三十分至元一公堂門下山詣寺
區并津近自部中四時四十分公知悉打不
中下全事伴香保火二八美吸ヲ多ク七時十分
東京傳着而降八八時前節宅

256

(三正六) す稱改とドーラグロトムを儀斯得彼聖

寒咳

朝九縣之石津、平坊、
午後二時上歸、美術院、康買會、及二科合、
嚴密途、第何、之、交、以男、計、去、廣、農、場、
行、不、在、東、定、竹、何、回、島、之、交、り、文、品、
三、隔、及、武、禪、
參、同、
近、有、教、十、平、

暖寒

神天又竹面被ふ
余も神ノ市長、第二候
補トモ、推店長方記
或、了人、怪身、外、
常、我、手、骨、手、実、マ、モ
ノ、見、口、ト、思、ハ、ハ、知、見、し
了、ミ、不、堪、

十一時也社と社前湯を基礎と爲す事今人
より見えては英文自今へ便歴を二三紙評うかへて之
ヲ返却し知れ奉落感に二部ヲ羅つてテ主諾ス
江口氏ト新設電氣会社ト宣彼ノ所ニ折合セテス
園村氏ヨリ着後外幣書信に及難談中服部ウヒスル
ニテ折クト他人心是ニタレるマヤク
坂幸も事々方ヨリ田中氏も大山林取社お輝
太しと欣せられ余祐ヤテ説明ヲタケ
四野退也三川ノ每人ニ宿也池田氏も馬ト津井地如
ノ件ノ付付談と置ル
勝々バノ礼ヲメヤン
笑くむの感りもまたで撫十のそちのれ
獨じかふーヤ
秋川や八奴名残の二舞有

日 八 月 九 露 白

庚申年閏七月
三十二日

暖寒

十時羊玄社

午後一時製煉主減教、件々田原氏より
相談あり、午後長夜鐵山、件々大森秋
山遊遊、件々教、件々、

有奉令仕之權太木執令仕沒之件室後令
之可天

三木正夫氏、答電目他紙綴ノ末ハ正確ニ
得途ニ底事ヲ知ルニ至リ、桐島ギ、今合五
時迄也

此日題氏字校、嶺山、教師一名、伴七亦社生校
所（沒數告下）
度、田、也、祐、也、本、訪

(元治明) む定を制の元一世一し元改と治明

王德金

今日の會は

暖寒

十時羊去社

以夕正夜明日早入家
 送外子任事
 寿辰新期，誌之
 二子

此果法料疎疎即太郎公奉訪三木作義ノ雅卷
ヲ得タルハコトヲ語レテ候ヲ進ムル事ナク此朝三木公ヨリ
返答ヲ得タルヲ以テアリ
十六日休理大臣奉敷キテ狀奏良ノ托侍リ清中
送ル

十六日 政多合二十周年 伏巻トシテ 全休裁 祭式ヨリ
 武帝 臣ホニルニ 托らん 清申スル

二十日書前百十日後一日到于順化寺校抄
必令紙行復不部、和符了、請申送元

三時不所男才余庭幸得知之
辛 閑談一得聞

水田政云今春朝奉所求田徑九方五畝
畝上

(四治明)す施實に京東てめ始を龜午 (○一帝德崇)す遣派に國諸を軍將道四 263

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

庚申年七月
二十八日

日 十 月 九

九月十一日

111

天
暑
所
寒

卷之五

後有實重價之承

三卷二公此作

清江雜錄

水窓草似保作後
来を只う獲取ス

素不棄此本功

三才圖會

寶曆、乃田原氏

金吾子初書後

命

SHINSHU

十時二十分出版

電気会社新設、度々、造船会社、宝鏡会、列し

不美乎乃曰以之爲政者仕也

七寶不丁上
川陽牛種事
合に移り
山行案

所以不問不答

南季張氏安后散也

三不啻振
即及其叔女不復二部公甲也

次、三町合資会社として設立し、事務会社に改称

件ヲ社長ト相談シテ案定ヲ要ス

電令社設立委員，任余為常務委員。

下相設以倉庫一所合為一地及至崇禎以于

之と先思ひて懼ふ

會田山莊詩集卷之六 石隱年午得

十時羊邊出版社

奉江府政令 朱氏子新、土葬、二十三日庚戌大匠

花得八國聯軍盟會公議、成之者多

其知器水言和耶贊而一李佳及機上金泰万

金齊賢因文女不可

名曰歸知事公郭氏之重致矣

欽此奉旨

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

價額。査査于松。余。安。見。下。六。全。生。余。保。

金仕子三曼明他尔力三門支兒乞

五時歸宅夜有雨晴

晴

暖雲

九時過ぎ、介本坊に於て食ふ。其ミチヲ行ハ
十時、木更支那小宮旅泊。翌日、而て本坊
午後四時、皇川河田島、行梅邊、松本、花
島、十時半、黄梁（夢）二編ヲ購フ。其、名臨
ナリ
午後六時止、系觀太郎氏、旅泊、見エ神ハ
土曜、位支、引支、タリ、ト、ナリ
松本、松本、高木、大、帰、旅、妙、見エ

晴

暖雲

朝、時、羊、山、社
正午、工、業、俱、部、に、催、サ、レ、タ、ル、未、次、ナ、計、算、叙、説
算、術、儀、式、に、相、談、会、に、臨、席、ス
午後六時、本、着、相、ノ、映、及、食、に、招、サ、レ、タ、ル、即、チ、外
リ、ミ、衣、ノ、目的、に、因、除、舞、臺、演、習、会、に、成、立、キ、開、シ、後
助、キ、シ、ワ、リ、着、相、及、内、田、外、相、儀、川、公、計、算、叙、説
談、義、ハ、一、談、以、テ、新、ハ、公、合、共、ト、シ、テ、演、説、アリ、斗
百、万、回、基、金、を、集、メ、テ、後、助、ヲ、無、シ、テ、ク、レ、ト、ナ
趣、キ、リ、着、相、儀、即、チ、招、待、ハ、ホ、ホ、公、民、ハ、一、ト、ナ
イ、テ、サ、テ、ト、シ、ワ、リ、誰、有、セ、地、主、ノ、ア、リ、ハ、一、ト、ナ
午後三時、本、成、ハ、民、電、停、太、丹、停、期、ヲ、早、メ、シ、テ、
ナ、求、ム

風六

雲

暖寒

日

十時半去勸修時理事會に候ミ三菱銀行
前年未善ヲ呈送ス
三木公成電本月下旬赴任ノ事申来レ
午後五時松方侯爵夫人昨日腦溢血ニ死セ
午後六時御子海ニ没リ跡金山王清八君
、田村公成侯ミ十時半歸宅

附會の告白

風六

雲

暖寒

日

朝九時木更度次郎々小曾根均伯に即面本
訪十一時出社
任来久米成成三二馬カ石行モ一々、牛乳
此上ノ意を見テ禮取ス
午後四時非常知ミ其ノ男ヲ訪フ
坂本清事常務三リ若山又店ノ砂如實スハカ、
ハ渡判ノ様様多ク最後ノ個段ヲ坪百三十四
トス、トス、前針葉合社ト炭價ノ決定、付、
事合社整理、應ル、徹底の意見多ク
五時退社
政宗来レハ来リ

皆晴

此日雨今枝茂
来り天位事ナ
トノ

朝十時豊川順休氏亡父營養除、夜抄、
見工

十時半之内松方侯爵夫人ノ告別式、此ミ
十一時半古社ニ時工普僧部由催サレハ
以男爵座新祝、祭知人合、此ハ期日ナレバ
会瑞帝國ホニ参集約三百員積リ会普三
円不足、聯合ハ各人ノ成、各人ノ教ナ
孤名ノ増加ス
二時分普天会社堂役会ニ集ル早川水庵
傳入金、中堂役存、此ハホブル知アリ
若松栄隆、飯田長、飯田氏、本防、理、長、頼、内
ニ打合スル知アリ一社部宅
午後六時政友会創立廿五周年紀念、帝國ホニ
コレニ此ハ群集約千人、会堂ニヤ、今ハ余儀、載、校
砂、塩川、磯、長、等、集、リ、七、時、迄、散、行、合、ト、モ、集、氏、久

皆晴

朝七時古社
理事会、此ハ内、松方侯爵夫人ノ告別式、此ミ
心着キ、件ナレハ、此ハ
三、時、分、普、天、会、社、堂、役、会、ニ、集、ル、早、川、水、庵
傳、入、金、中、堂、役、存、此、ハ、ホ、ブル、知、ア、リ
若、松、栄、隆、飯、田、長、飯、田、氏、本、防、理、長、頼、内
ニ、打、合、ス、ル、知、ア、リ、一、社、部、宅
午後六時政友会創立廿五周年紀念、帝國ホニ
コレニ此ハ群集約千人、会堂ニヤ、今ハ余儀、載、校
砂、塩川、磯、長、等、集、リ、七、時、迄、散、行、合、ト、モ、集、氏、久

川井原ハ、此ハ、見ス
高知弘見水、此ハ、金、百、四、十、土、原、合、ハ、カ、ス

風天

晴

暖寒

風天

晴

暖寒

朝九時連山宗月具工公金大代職任

ノメ

十一時出社十二時社友銀行便部にて銀行

重役及古東中ノ友所長及主計ノヲ為シ人々ヲ

催スルヲ席ス

北坪太池田調査ノ為古股此夕歸出シタル島

村金徳村氏等社長江見村合席合祀ノ

後作リナリ

四時半退社

夕景止夜入寮此夕ヲ始テ宿舎而歸ル

駐劄全日

駐劄全日

風天

晴

暖寒

朝九時東京同一公来訪

三時半茶二浦製鉄名長松田貞二氏

本所

其間銀行上海支店長田村芳實氏来訪名

刺ヲ置テ帰ル

夜八時ニ而歸ル

庚申年八月八日

天氣晴

暖寒

十一時出

午後一時程除州會に於て分會集會社を七團
 時依會より議題に村株募集話下ノ數者にて
 會後又回ノ會より會費約五六十名四婦人等名
 村會會長トシテ議長にせん平穩無事候了
 六時ヨリ井井信夫氏に招かれ八時半點迄
 赴き三宅川ト村ノ二面全敷六時半食席に
 又信夫より父の實業に就て九年に本援助
 うをノ様砂より現本一成を辭坂寺以外に全部
 三宅ノ室敷ナリ
 九時半歸宅
 是日十二時より分會ノ役事より箱根に赴き所柄
 上京ニル長田別荘ノ番人権延作と物及牧場
 三ノ井田合子分會又

(○二治明) く舉を式工竣道水濱橋

275

岸 彼

天氣

218	219
-----	-----

十時半古

飯田正太郎女平坊
 大慶次郎女平坊
 歩下丸女平坊
 フサハナ女平坊
 リタリト女平坊
 ナ後五時半豊川順作女平坊
 援助女平坊
 援助女平坊
 約百名神田胃主人側子代表
 相本客女平坊
 リ情に偏重女平坊
 佐下丸女平坊

274

(六六八一) す旋帆にシリルベ軍將クトル

子理

日 出

九 月 二 十 七 日

庚申年八月
十六日

[illegible]

會の全日

(五二治明) む定を則細行施法便郵包小

284

庚申年八月
十五日

日六十二月九

FREE
* * *

王會全一

氣天	暖雲			陰發	陰曉

(二治明) ふ賜を祿賞に昆功の新報 (二學良) う奴行素鹿田

280

水
庭

日九十二月九

月八日申庚

[illegible]

(元正大)す 戦 開 土 伊 (七平天)る 鑄を 佛大良奈

283

庚申年八月
十七日

九 月 二 十 八 日

月 滿 曜火
分七十五時十餘年 丑巳

風天	陰		陰	陰
暖寒	記			

(○四治明) す朝來卿トフタ領統大副國米 (元弘元) 城落置笠

282

以下未記入省略

庚申年八月
二十三日

08 252

鳴 鶴

天氣

晴

暖寒

朝十時自那摩ニテ長存、貝島水市ノ新印ヲ
訪フ門前ニミテ水市ノ東宗ヨリ歸宅スル、会合ス
爾談ニ良久、密長ヲ言フ、相推テテ頼川印、
赴リ美介夫婦父人公並別所、勢キ不在母人
ノ前面、知テ美介ノ長ヤ者ユリ見ル、国司借介
母ナク妻ヲ望ムリ、妻長、知テ面ノ口ニテマブ
三拜、婦人本々隆介市長ノ汚用ヲ受リ
七時、国司借介ノ齊敷迎、其他三妻ノ所久シ
見込レテ下ノ廊ヲ登ス、塩田氏モ亦長女ヨリ歸

(○二治明) 設建校學術美京東

89

月八日申庚
日二十二

日 三 月 十

年甲

08 20

一、于

晴

暖寒

248

(三正大) す獲捕を臺十三機行旅し撃砲をブーロットン軍獨

庚申年八月
二十七日

日 記

氣天

晴

寒	暖
---	---

朝主索仕成車訪亦事上并一愛愛會社一件在
後能与交與不

午後久保金七氏來訪。因酒席。一。五。四。八。油。
一。載。因。三。持。主。丹。治。下。安。情。有。日。依。賴。又。
午後七時。六。年。三。節。來。三。橋。觀。候。井。上。氏。節。
三。六。氏。率。而。自。久。保。氏。率。牛。坪。出。十。部。式。合。會。又。

朝 鮮 閔 皇 后 殺 さ る (明治二一)

293

韻木
曉

附錄

| 新天

天氣
晴

暖寒

午後一時和田内折、折工場ヲ巡視ス、余次久保
金七氏宅ニ至、次ルハ氏不在ナリ、工場ニハ止、御代降
御工場内ヲ案内セラル、九時至奈、則チ、後大寺ト云
宋錦斎庵ニ至、祿車ヲ御至、庭ニ升、堂五郎
ヲ召シ、氏夫婦、而合席ニ相シ、飯後、折奈、外
ヲ書有、ヲ見、覽シ、十一時、奥御礼

(二寶延) 寸 玖 岡 探 野 狩

292

晴
暖寒

朝八時五分東京驛降着、一たび帰宅十
一時、本社社長、おし旅行中、報告、うす
奥村、志葉、深長、り、北、棒、太、心、腹、い、徳、其、後
と、立、送、り、三、番、針、葉、木、の、り、合、社、の、改、改
正、の、内、の、見、え、と、取、り、
午後五時半より、社長、針、葉、木、社、重、役、場、長、の
招待、銀、行、保、保、部、の、席、席、ス、九、時、降、着

晴

晴
暖寒

十二時、本社、運、動、会、の、森、井、お、り、立、来、降
着、お、り、社、會、の、日、曜、と、い、て、吸、か、社、來、降、着
り
五時半、錢、板、の、冷、へ、直、へ、赤、板、三、河、原、お、り、江、に
ト、共、に、お、り、針、葉、木、の、り、重、役、場、長、の
合、社、の、招待、し、え、と、り、十、時、降、着

天気
曇り

暖寒

十時出勤

社長ト挨拶、上納有章者（大股主株主長）ト
本社参進、轉任、件々金会、主意向ヲ示
松原村人等取次ヲ呼ビ、筑紫屋、針葉、知、共トシテ
ハ、口方、年注進、ス、アリ
午後三時、飯田止太郎氏ヲ招キ、ハ、半田、四、
列席、上、金会、財政、休、件々、ハ、ス、アリ
内山、之、成、成、後、リ、上、名、平、房
五時、半、退、ス、其、頃、リ、而、降、ル

天候

天気
曇り

暖寒

十時半出勤

社長ト針葉、商、事、而、合、社、半、後、ハ、カ、ル、志、
半、後、料、件、ハ、最、後、ノ、打、合、セ、ヨ、シ、而、後、半、後、料、
三、合、ヲ、針、葉、ミ、リ、針、葉、ト、思、フ、事、ト、取、任、メ、社、長
ヨリ、而、社、長、ハ、半、後、ス
午後一時、針葉、合、社、宣、使、会、ハ、列、シ、筑、紫、屋、
全、部、ヲ、筑、紫、屋、針、葉、ハ、唐、津、宮、四、ヲ、唐、津、針、葉、
知、ハ、唐、津、宮、針、葉、ハ、唐、津、宮、針、葉、ハ、唐、津、宮、針、葉、
ハ、各、針、葉、知、ハ、各、針、葉、知、ハ、各、針、葉、知、ハ、各、針、葉、知、
止、職、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、
合、齊、ハ、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、任、
江、岸、不、成、而、ハ、而、シ、米、ハ、不、成、ヨリ、未、信、ハ、而、
ス、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、
五時、退、出、ス、其、頃、リ、而、降、ル

隄木
 巳乙

日 四 十 月 十

庚申年四月九日

[illegible]

(一四治明)る降書詔申戌 (三應慶)す還奉を政大喜慶川徳

299

庚申年九月
二日

十月十日

露水
晨甲

[illegible]

298

(元治明) ふ玉し都遷に京東皇天治明

無天

晴

晴

十時半出社

十時半市明治生布合衆、江口奉町ト昇坐
飯田叔肩有隣生布係談評價、井原辰ヲヨリ
不明、八有隣、多々、白アリ明治生布、一カノ
並、後、市、戻、
十二時上葉便衣、部、昇、短、用、手、元、理、事、合、
別席、飯、内、山、賢、不、飯、シ、ラ、ヨリ、出、来、ナ、タリ
午後五時、退、去

無天

晴

晴

辛、

朝来逆好、晴天ナリ、十時半出社、東、買、物、全
増田生布、明治製織株、斗、株、日、支、付、社、員、半
井原辰、南、半、段、本、市、留、ヨリ、テ、製、織、株、出、来、
、井、有、島、ト、合、見、セ、ト、
午後一時、四十分上野、至、テ、汽車、ヲ、下、日、支、付、後、
雲、ノ、田、主、生、山、本、無、太、郎、全、件、入、令、市、ト、大、項、
而降、ル、六、時、半、分、日、支、着、小、西、別、飯、入、
大、士、平、吉、（名、勘）、ヲ、招、キ、白、川、雜、沓、（次、市）、臺、標、
、見、使、ヨ、ナ、カ、ト、
旅、各、旅、人、ヲ、駭、テ、他、ム、十、時、半、代、六、株、

日 一 十

十二時止、社外夜宿、解、乃頭、直、理、事、
 合、列、内、也、候、解、心、合、社、服、各、候、解、心、抄、
 次、序、ヲ、第、一、
 社、長、ト、合、議、昨、夜、ノ、腹、痛、ヲ、治、ス、
 四、時、半、迄、去、

月九日申庚土 日一十三月十 辰八

十一時止社
 午後一時半右隣生全ノ件ハ市代ト会後ス
 午後二時カレト成ト交渉アリ二面ヲ協議シ全
 校校ノヤリテキルニ全件ス又方ノ提モ市代ハ全
 新庄半介ニ然ノ代役身百五拾圓ノ先セシ^知
 世未幾又百六拾万圓き方ノ定案ト多大ノ相違
 アリ又方ノ提案ナキヲ論議シ五時ノ夕ブ
 六時全成等ヲ本校へ田中屋ノ提ギルヲ以テ全
 知ニ至ル堅固大ニ場ナ大杯縁會議ス全モ久松
 リテ拘テ年ヲ千リビエリシ先リ倒レザオルキホヲ
 エリテ駭ルカレシシクグレマインヲモ騎半ニ至ル
 ニ尚ホ三二時お断リ小内ノ子件ヲ帰座セシ
 余等モスルビエリシ苦痛ヲ訴フルモ市代不達因
 難モ田中全ニリ申込ハ定メ奥行成ノ電報シ様立

風大
じふ
暖寒

七時群志

市会社連後全工時可催
午後後廣信若未訪武彦屋ノ客家ニリ箱根地知
坪七園ノテレバ廣辰ノ催キル申来ニ社長ト愛語相
談ニテテ所詮又信若又哲次郎成トナル所目ナント
「改メテ余ノ一任スルアリ」婦金社長モ主アリ
打合ヤリ上坪五園、實上ノ一トニテ更ハ電話ニテ交
手シ相談ス
血為真（以別ノ為メ藤田正捕市打在殿列ノ
催アリ）天際去板ヤル五時全知ニ赴キ十時群志
列ハ坪連身録、旧幕殿合、ガニニボー異
其五中及古辰辰ノ一也
此朝之勤、金次郎辰辰合、金、ミタリ明治陣宅
ニ神主比辰来ヲ坪殿ス方所男一行五辰男辰辰
次リ又辰方辰辰合合ス

風大
じふ
暖寒

七時群志

市会社連後全工時可催
昨日後廣信若未訪武彦屋ノ客家ニリ箱根地知
坪七園ノテレバ廣辰ノ催キル申来ニ社長ト愛語相
談ニテテ所詮又信若又哲次郎成トナル所目ナント
「改メテ余ノ一任スルアリ」婦金社長モ主アリ
打合ヤリ上坪五園、實上ノ一トニテ更ハ電話ニテ交
手シ相談ス
血為真（以別ノ為メ藤田正捕市打在殿列ノ
催アリ）天際去板ヤル五時全知ニ赴キ十時群志
列ハ坪連身録、旧幕殿合、ガニニボー異
其五中及古辰辰ノ一也
此朝之勤、金次郎辰辰合、金、ミタリ明治陣宅
ニ神主比辰来ヲ坪殿ス方所男一行五辰男辰辰
次リ又辰方辰辰合合ス

庚申年八月十九日

日九十二月十

皇全
申 誕

天
而
天
暖

漢記

病多か差衣しむに於
夜分雪鳴ニ清きヨリ夜半ニ雪止

王會令一〇

314

(五保亭)る奉に府幕を史本日大

戊申年四月十九日

⊖ ⊕ ≡ ∅ ⊕

天氣
晴
寒暖

五

庚子

身介 橋重トレ共 銀田ノ半ニテカール久ナ一昨
 江々々社友ヨリ合件 銀行ニテ有隣生金ヲ月支々
 決メ方針ノ句ニルルヲ
 午後三時久松針書キテ方々助メヲ請ヒ井上達夫
 久松針書 遺稿ノ件ヨリ合セ合時ノ自合久松
 針書株名交換ノ件北澤太炭田ノカノント友
 彦中ノ領ナリ諸ノ遺ノ贈セ直ニ達夫ノ命ケ久
 松ト諸清介様衣品出ス方々各書報シテ指圖シ弗
 其次芳ヲ身介ニ廻ス

315

(三二治明)ふ給し降を語勅育教 (三永嘉)す殺自英長野高

漢書

316

(六和明) 寸 殘 漏 磨 茂 加

時
好

【節物】初雷、初時雨、火桶、落葉、初冬、冬の月、鷹野、冬の蟬、殘菊、木枯、薄氷、神樂、火焚、冬の雨、冬の霧、冬の空、敗荷。

【花卉】 椿、山茶花、水南草、紅葉、黃槿、錦木、殘菊、冬薔薇、冬葵、タリブ、クロ

【食品】かながしら、防風、伊奈太、鹽、鹽、眼張、鯨、鯨、目鯛、疣鯛、いしもち、大根、漬菜、白菊、馬鈴薯、獨活、蜜柑、金柑、九年母、文旦、橘。

【遊覽】高尾山、日光、嵐山、鹽原、箱根、碓氷峠等の紅葉狩。麴町山王、神田明神、深川八幡の七五三詣。西の市は此方東都第一の見物にして吉原、新宿、洲崎、品川等の大繁華に賑ふ。

【娛樂】内題としては堀開の茶事。詩歌の邪果外題としては遺草の策一とし、近郊の史蹟討査など又妙味渺からず。散策、

【圖參】花園副園の取片骨。越年植物に肥料を施し、果樹の剪定を行ふ。ダリヤ、カンパネラ、球根を掘り取り乾燥して貯へ又病蟲害の防除を行ふ。茶木、柑類、蘇鐵に霜除の設備をなし、ちぎ、人参等を播種す。

霜に月・ひきまきつき

小立
雪冬
廿二日

更爲く氣は秋の将半なれども千知よりは一風體に冷氣を感ひ寒林枯木天地蕭々冬景を現す

新曆賣出し	一日
大黒天詣	二日
明治神宮祭	三日
下弦 (午後四時 三十分)	三日
饗祭	八日
新嘗祭班幣	十日

満月(十二分)	新嘗祭	二の酉	報恩講	鎮魂祭	大師講	観音分會	上弦(午前時)	一茶忌	子規忌	輕寺大會	中山祝	西の市	五三祝
酉前除夜大	廿四日	廿四日	廿四日	廿四日	廿四日	廿四日	十九日	十九日	十九日	廿一日	廿一日	十五日	十五日

風天

風天
九月
癸亥

明は神宮寺にて
太神の正後城より
以て来りて後城より
國人行玉

本日は明は神宮寺にて二柱鎮座し、余等、當日にて余は明は
社宮奉養公理奉とて、造當副格、或床内相三
参列、室内より以て午前六時半迄、去て自備車にて
長旅道より参入、式場列、余等、いま前八時、候マ
十時半、候し参列、参列、場知、内陣外、四廊、ヤル、以て
五本、候し、式、中、皆、来、内、降、往、来、ス、ト、致、半、折、し、隨
て、相、並、ミ、余、等、如、千、毫、モ、ズ、余、ハ、井、上、日、銀、係、敷、ト
相、並、ミ、千、毫、モ、ズ、式、後、紅、白、の、鏡、餅、を、箱、ヲ、奉、リ、神
ル、未、知、天、師、参、列、参、列、代、ト、テ、上、棟、式、如、リ、玉、串、ヲ、俵、サ
タリ、参、列、参、列、無、二、願、キ、々、名、官、吏、ハ、其、支、部、ノ、儀、キ、ス
夜、四、時、頃、より、小雨、降、リ、出、ス、キ、後、六、時、三、リ、寒、風、吹、合、候、
雨、キ、ハ、候、川、奉、養、公、理、ノ、致、候、ハ、是、列、ス、余、ハ、理、奉、ト、ヒ、
其、主、役、一、部、ヲ、知、タ、リ、余、等、其、内、候、天、師、係、敷、係、係、
他、事、其、他、約、二、百、名、合、長、候、以、テ、奉、首、相、ノ、儀、係、マ、リ

風天

風天
九月
癸亥

晴天
九月
癸亥

風天
九月
癸亥

昨日、鎮座、余、等、後、午、後、一、時、ヨリ、一、般、奉、養、ヲ、行、タ、ル、
雲、前、ヲ、行、テ、入、リ、此、群、集、五、十、余、人、ト、注、セ、ラ、レ、主、輕、佛、者
百、余、名、ト、モ、シ、有、様、ニ、テ、モ、ン、降、雨、ナ、リ、夜、分、混、雜
ハ、一、當、甚、シ、カ、リ、ト、モ、シ、而、為、メ、夜、分、見、知、ハ、萬、ク、市、成
ノ、邊、座、多、ク、リ、モ、合、朝、ハ、幸、崎、天、ト、ヤ、リ、神、宮、祈、リ、キ、モ
キ、ヲ、ス、千、前、中、ハ、来、候、々、名、代、ト、ヒ、ハ、奉、福、マ、リ、一、時
ヨリ、又、一、般、奉、養、ヲ、行、セ、タ、リ、持、交、々、々、々、ノ、奉、於、百、人
ヲ、下、ラ、ズ、ト、報、セ、タ、リ、内、苑、奉、養、合、ノ、大、会、日、比、甚、シ、市、ノ
松、餅、ア、リ、タ、ル、ト、封、リ、テ、行、サ、ス、十、時、半、出、物
午、後、二、時、奉、因、リ、其、ノ、飯、田、止、太、郎、成、ノ、面、合、日、抗
キ、五、時、半、迄、奉、因、リ、ト、封、合、ス、如、リ
本日、市、ハ、萬、體、命、各、種、催、ア、リ、青山、ノ、催、シ、ル
松、餅、伯、主、催、ノ、鐘、キ、馬、ハ、當日、午、前、ナ、リ、促、メ、タ、レ、シ、
行、サ、ス

日 四 月 一 十

庚申年閏九月
二十四日

天氣

晴

暖寒

十一時古社

習錢抄師有安堂次仁學代料、採用城、仰太早
 公、月、辰、亥、未、申

飯田正太郎公、丹波社長、江兵衛、河内列席、
銀り取

右簿生金三百五十五兩，許便、許以支奉。

大南北三藩子有降款百九万因内修
小令社、提供幸、

石三拾百四十一時叙用八寶上七（四百百四十七）

五、餘九、陳金周題、分一北韓、銀道、佛金、又
八、獲得金、以、及、清、也、公、牛

海軍校尉星野五郎次郎大野行全

夕十マイト全社漢字會考成人外入子由之
 如時羊退古炸途散此友

血時羊泉古新金散

Θ ≡ Α - +

〔暖水〕
吐乙

天氣

和後

暖寒

今日明神宗皇帝陛下之生

日曜夜半三時降リレキリタノモ十時終ニ晴レ
リ日走輝キタリ工一時出社

即日外村
 矢月三十一日南樺太より
 送り冬々廿時田三雄ヲ招キ

明日、越中太郎、本店、棒、木、三、木、三、リ、有、美、屋

武成許、紹介す

今、田舎に於ては、（一） 安楽な生活を送る者、（二） 意欲が旺盛で、（三） 健康を維持し、其の幸福を得たり。

壽星生面田子伴日白扁率之青山見物行

[illegible]

十時出版社

賀錢叔師有安室次但樂茂料一柱用城預仰太

段田止太郎公、丹波、津波、江、常田、列席、九、

辰戌

辰戌

辰戌

辰戌

辰戌

辰戌

十一時本社理事會及田邊信會長より啓出ノ
 芳備社合議ノ件ハ其大任ヲ是認シ其旨法
 ハ而本社ノ振興部トモ合ノ事トス引張子自分
 ミリ若松若松合議社ト河海内知有地ト先理
 新以補助トヨリ依頼早川水力合議社ト
 共所男トモヨリ久冬ヨリ男ヨリ猪苗代仙石
 氏トモヨリ文(取)トモヨリ
 午後二時半飯田進太郎氏ノ本社ヲ永人江に
 奉田ト二人列席昨日決定ノ取決ヲ付達ス
 今夕査査業深ニ二時トカリン、ハ、山に
 八時トモヨリ七代出席ノ頃ト夕トモヨリ列席
 ス喜呈手、後三時トモヨリ全ヲ北室、訪ヘリ
 余ハ漸リ暇ニテ待テス

天候 晴 雲 暖

凡テシテ強キハ晴天ナルヲ以テ壽美ノ岸合道
小柄山ノ觀楓ヲ思ヒ主十一時十五分別却リテ
三ノ川ニテフツ仙石臺ニテ鮎子ノハ紅葉ナク
仙御様ノ道ヨリ小柄山ノ長道ニテ行ケ紅葉
柄ノエカメ大涌泉ノ下湯場ヨリ午ノミ里ノ別荘
地ニテ箱根土地金社地ヲ壓テ鷹羅公園
下道ニ降ル行程約四里ニハ行ルニ合殿ル
災狀入場後晚餐一杯閑然ナリ
山ノ傍ノ川ヲ流ル
小柄山ト早雲山麓ノ紅葉ナク面白キ所ナク
タルニテ七ノ川ノ流ルカ也

天候 晴 雲 暖

絶好ノ晴天ナリ昨日ヨリモ亦曇ルニテ
再々一時中身壽美ノ岸ヲ伴ヒ早雲山麓
ヨリ正四ノ涌泉ニテ箱根本道ヲ歩ミテ鷹
ノ巣ノ城ニ至ルニ北条ノ夏張ルニテ小田原
ヨリ三浦半島ニ至ルニ石ノ箱根ノ田舎ニ至ル
壽美時山一ツノ脈界ノヨリ豊美ノ久ツニテ
テ小田原攻ノ痕跡知トス所取テ下ニ
十條ノ橋ニテ小柄山ノ麓ニテ線路
沿テ作宅ナリモ亦行程約四里ノ時間ヲ
費セリ

日一十月一十

日一十月一十

無天
三
雨
暖

十時半出社

（定）

午後二時九床取付役会、列席奉期、配当

時刻二分決定

午後三時、計十人、面会ス（本日一時、業地）

午後五時半、郵船、船長水川、式部、船

達、会社、近、外、室、役、今、山、松、係、ス

敬

（原）
西

日一十月一十

日一十月一十

無天
三
雨
暖

十一時、社直、理事会、列、迄、假、会、社、工、場、各、欠

会、役、置、付、一、番、後、ス

中央、同、型、会、社、一、回、出、書、額、一、会、計、小、林、長、

成、ス

ス、ク、一、一、市、会、ト、決、定、進、行、一、模、様、并、内、外、各、

代、リ、石、石、会、社、協、一、に、置、リ

貝、島、太、市、本、協

五時退也

曜水
卯巳

天氣晴後雨
暖寒

福沢諭吉
松澤清

庚申年閏十月
十七日

十一月初七

中華書局

朝八時赴床内帳帳合帳ノ高口左司氏來訪朝飯
後相携テ島田町ノ支店ヲ訪ニ銀行及商事ノ業必
ヲ視夫ヨリ散策朝比奈實業店入り古陸谷斗松橋
(赤川)鑑孝領(三百五十松岡)ヲ求ム全店主死亡床店
整理ノ事外ニ靠價ニホメレタリ
於此時四十分永奈氏全道旅行事務内所帳諸
事ノ見送り支テ名木屋客車車中上乗券運送
長濱田利代田中壺根アリ上奈大崎ヲ渡リ大庭智
ノ模様ヲアリ八時四十分東京驛到着而隣ニ
歸奉少ク知レバ不在中坐睡地知家屋買
入代金老方六百円(又計金老方六百圓)ヲ千圓賣一
分ノ後シ登記午後橋本証合川母人ノ手許ニ千圓
及持券殘金均斗百六圓四ハ而後ノ費用ハ平田氏
ノ豫メ置タル由

334

(四治明)す許を應登靴穿の吏官 (三帝智天)す薨足鎌臣中

社會の今日

天
星
後
晴
寒
暖

得于心上所積

朝九時光村利藻公事訪聖物證書并木口渡

卜後一研、樹木、草葉、深茂、全道、井、水、師、軍、次、及、ノ、所、
 台、也、料、が、長、列、序、ヲ、ス、ク、ベ、グ、南、合、ホ、ノ、預、判、ノ、恒、
 通、ヲ、陳、示、シ、政、村、ノ、要、籍、を、ハ、ル、ハ、知、アリ、外、陸、
 農、三、省、ノ、見、テ、徴、ノ、周、該、ヲ、歷、テ、亦、三、日、中、回、答、
 不、サ、旨、互、事、アリ、

二時羊夜終、共ニ三井八倉右衛門長子高松幸
康杜、長ヤト、諸將夜々、各々三井侯本部、
参リ、一尺梯、七禮殿、更々下米、福沢、
郎、参リ、計仕、僧大、便主、夜々、
間、井、山梨、雨、次、其、他、朝、野、名、士、
下リ、金、興、芝、布、市、三、期、十、優、交、
三、十、此、様、合、三、井、國、野、合、八、倉、合、

墨ヲ染ミ置テリ十二時迄迄

335

(二五八一) 寺葬埋に院寺ルーホ、トンセを公ントンリエウ

晴後雨
暖寒

出度泰手代相持
山ノ山ノ山

十一時止社理事會、昨席し、近以合仕、此、工
 場、集、々、改、置、を、考、へ、評、議、す
 午後一時ヨリ、商事會議、定、座、役、會、計、部、支、店、長
 任、命、ノ、報、告、ヲ、以、テ、田、中、久、三、氏、ヨリ、進、言、ニ、於、テ、ル
 合、資、會、社、其、業、務、ヲ、商、事、會、社、ニ、以、テ、處、理、せ、し、め、取
 得、イ、カ、ル、報、告、ヲ、リ
 帝、國、通、信、々、々、川、某、至、剛、一、人、件、々、至、房
 藤、野、君、報、告、取、得、役、ヲ、田、中、氏、不、在、ハ、召、喚、先
 付、ノ、提、示、し、て、其、借、地、借、金、ノ、契、約、書、未、々、自、介、ノ
 云、見、テ、田、中、氏、ハ、ハ、ハ、レ、ム
 梅、田、芳、松、氏、本、方、先、村、金、米、々、々、合、成、ノ、米、店、主、永
 入、置、リ
 郵、船、振、替、植、松、送、別、寫、山、口、ノ、居、席、九、時、輝
 宅、兩、岸、ハ、

大、天、氣、雲、後、雨、暖、寒
 花、松、氏、送、別、會、計、部、支、店、長
 任、命、ノ、報、告、ヲ、以、テ、田、中、久、三、氏、ヨリ、進、言、ニ、於、テ、ル
 合、資、會、社、其、業、務、ヲ、商、事、會、社、ニ、以、テ、處、理、せ、し、め、取
 得、イ、カ、ル、報、告、ヲ、リ
 帝、國、通、信、々、々、川、某、至、剛、一、人、件、々、至、房
 藤、野、君、報、告、取、得、役、ヲ、田、中、氏、不、在、ハ、召、喚、先
 付、ノ、提、示、し、て、其、借、地、借、金、ノ、契、約、書、未、々、自、介、ノ
 云、見、テ、田、中、氏、ハ、ハ、ハ、レ、ム
 梅、田、芳、松、氏、本、方、先、村、金、米、々、々、合、成、ノ、米、店、主、永
 入、置、リ
 郵、船、振、替、植、松、送、別、寫、山、口、ノ、居、席、九、時、輝
 宅、兩、岸、ハ、

前、夜、ノ、雨、止、ミ、テ、日、光、ヲ、滿、ラ、ス、九、時、義、介、々、々、本、市
 未、所、唐、不、幸、々、々、聽、取、ス、ル、知、ア、リ
 十、時、止、社、理、事、會、計、部、支、店、長、任、命、ノ、報、告、ヲ、以、テ、田、中、久、三、氏、ヨリ、進、言、ニ、於、テ、ル
 合、資、會、社、其、業、務、ヲ、商、事、會、社、ニ、以、テ、處、理、せ、し、め、取
 得、イ、カ、ル、報、告、ヲ、リ
 帝、國、通、信、々、々、川、某、至、剛、一、人、件、々、至、房
 藤、野、君、報、告、取、得、役、ヲ、田、中、氏、不、在、ハ、召、喚、先
 付、ノ、提、示、し、て、其、借、地、借、金、ノ、契、約、書、未、々、自、介、ノ
 云、見、テ、田、中、氏、ハ、ハ、ハ、レ、ム
 梅、田、芳、松、氏、本、方、先、村、金、米、々、々、合、成、ノ、米、店、主、永
 入、置、リ
 郵、船、振、替、植、松、送、別、寫、山、口、ノ、居、席、九、時、輝
 宅、兩、岸、ハ、

陰 陽		陰 陽		無天 晴 暖雲	社會の全日 晴	
陰	陽	陰	陽			
本報刊日改之社新 榮社度喜喜國よ ニル計				十時羊太社	十一時製材式旗帶海軍省に井出次官が訪ヒ 次官より先日さき方ヨリス高会トノ北澤太受田ノ南 スル演説ノ対シ 政府ハ因京ノ為メ甘非艦以外ノ五 ノ月内ノ増出資ヲ要スルモ早リ同往官ノ実地 ノ掃括ヲ要スルヲ以テ、實地ニ得テ南海陸軍外 務大臣並農商務大臣有ハ之シメ今更ニ洞印シテ以 テ山台台長並初ノ上ハ其更ニ下附スルモ差支ナシト 碩砂ナリ依之午後久松房ニ勅令池田進出ニ 而会ニシテ無心ニヤヤ不ノ種メ 果廿五日三井並ニ 浜田關係ノ建中ニ寄合テ幾フナリ 國政廢成カ 日吉本社ニ交渉ナリ	
東京又后松交通ノ件、廿三在川ト派ス 竹葉其金江派会ニ出ルナリ 飯田又村田金江派 長ト派ス 四時羊太社						

陰 陽		陰 陽		無天 晴 暖雲	
				本日ハ大衆泰ノ新開校ヲ路トシテ南榮太庫主 藤川頼倫後ヨリ相持セラレモ連日ノ夜ナリ 疾セシガメノ計リタリ 今会ハ皇族殿下ノヒモ ナリ也 井上康五郎又山本佐太郎而女ハ此更ニ事ナリ	

天
氣
後
晴

暖寒

十時去社三番馬上保代、重役令列ス
 北京支店長後任、社長ト重役等知アリ
 奥村ト休休、山内トテ明後日種谷トキリ
 ニシ代ニ用ゼシム
 四時半退去

天
氣
星
形

暖寒

新寄余

朝九時八木涼一郎氏平訪富士池谷額代五拾

庚子年及久

十時、彌云、平校、州山比、北衛、公校、貞二、名、下、未
訪ハ、ハ、嶽、周、空、表、(音、同、ヲ、書、ス)、内、ハ、金、斗、百、内
音、消、ハ、音、名、ヲ、十、八、外、ハ、公、行、ハ、校、貞、大、品、公、南、米
音、長、年、金、斗、百、内、ヲ、校、別、ス

午後ヨリ雨降ル正夜明ルヨリ晴ニ帰田

無
三
暖

書長孫仲懷書
吳郡

十一時之社

田原より船中を沃養要る事、舟乗誤
午後四時近川。赴き舟人々毎半日頃一舟、板砂
り白羽二重（五十ス）に手、浴し置り

六時 齊藤朝鮮返督、相會て帝座を
列す未安皆実業系 名氏(以下)三井八郎右衛門
大倉天八、三男外甥五十名 大倉嘉菊ノ巻牌尤
天板へ明れ年々南戎役、陰大久保利通(前智恵
ノ囑)朝鮮、饑饉、救助業ヲ勵進シ金山
ヨリ小舟ニ乗取金次遣催ノ模樣ナト余、悔
ミナリ知リ余命モ亦若シク仁今日ノ當ハ
代弁シテト思ハシハ時ヲ盡ス

天
氣
寒
暖

赤坂新屋

北朝地震アリ十一時也社
理事會、去席ス

午後一時より社茂堂より箱根代水電、仙石賣場
早川水電、庄田部、西社茂より金見せしむ。西社
合町、理解し得せしむ。が爲人也。

午後四時、池田國三、成ノ稻、口ル、三所、生、升、金
代ト、回、甚、良、年、一、支、映、ノ、數、優、ナ、レ、ナ、リ、宴、会
半、一、八、時、羊、蹄、屯

工部、財政部、會同商榷、分辦人

庚申四月十日
二 十 五 日

能 型

08 12

氣天

四

暖寒

美々谷トリテ前十一時ニ田真一氏ヲ大塚下
川セテ自宅ニ訪シ新田英朝氏ヨリ依頼ス
鴨買入地令畢ト登レ青嶺ヲ母人ノ登レ毒性
候ト共ニ令成ニ候ス

庄田正鍾ノ入葉内ニテ居ルカ歟亦疑ヒテ升リ自分
ノ後ニ畔田某會ニ赴キハ畔田某ヲ待セ

今岐地霞下リ庄田正ノ堂ニ至リ

(一四同) 布發制官院道鐵 (一一治明) く置を部本謀參

353

庚申年四月十一日

日 四 月 三 十

中内

02: 22

0.85 27.8

氣天

विष्णु

暖寒

爪濱十二時止社殿田代持参ノ神饌炭玩
 、俵八束也、参ノ所ニ見テ有ス
 社衣ニ重ニテ弁當者合社聯合ノ除障ハスリト望
 査役二名ノ件ニハ公全席 押座スル也アリ
 奥村女ノ所シブリトハスル、田舎ノ女見テ、
 藤野ノ持参ノ支村利正氏氏ヲ入テ、梨也、赤
 ラ是、松ノ来テヨリハ十年間毎月五百圓ヲ賜
 期ノ元金ノ、知有テ移シテ、思案ナク、有也
 能見、弁當者、皆、有、毎、日、神、度、炭、玩、ト、ハ、梨、也
 赤、木、竹、垣、玉、ト、也、下、
 四時半止也
 新田英胡女望陽如知ノ件、弁當者、赤、木、竹、垣、玉、ト、ハ、梨、也

352

(五正大) 儀葬帝先塋 (三治明) む定を法便郵てめ始

晴天 晴

夕霞月久松平次分
自長松崎廣次
金和風大候実川

十二時羊と社

十二時羊和康院公使

父々公使領片

昔記夜々云彦公使令候二人ヲ社長大婦主人

トシテ深川ノ松平次分ヲ更々赴リ昨日ノ寒気

聖堂より方々温和ノ好天矣ナリト云フ所内ノ

散歩ノ由ニ夏客大者有リナリ三時節社

夕刻殿々於テ松平次分長ヨリ浦鹽西比

和垂ノ政況ヲ席ス口聲ヲナリテテ之レハ

赴リ聴衆ノ皆會社ノ重役連ナリ演述件テ夕

飯ノ宴ヲ會ナリ八時過歸宅

御用金

御用金

晴天 晴

此日松崎廣次
中松

机の上には
てぬの面指を
けり

夜未大雪非々ト下ル終日降り止マヌレテ夜

羊と社三本正太氏様太三リ降り今冬ノ様様

ナリ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

と桑収米雪ハ今冬ノ様様太三リ降り今冬ノ様様

夕霞月久松平次分

天氣
曰雲

暖寒

カール、ケオル、スキー
オ、正午、高輪、相り

十一時羊玄社直、社長、自勤事、金葉シテ高崎
郎、参リ主客併セテ十人カールン及ゲオルズキー十
三時羊参着午餐食、御食應アリ 三時歸社
其所男ヲ亦庭事及ヤ、乃フ不在 桐島及、
面会市会、後男會齊市長、雅選ノ腹主ヲ
撥キ歸リテ之ヲ 社長ノ報告ス 四時返者三木及
ヲ金水、叙ニ席ニ 七時中英停車 場ニ至リ井上座
立郎夫婦、歸西ヲ見送リ 寺長及ト金葉シテ、
帰ス

(元治明) ぐ告に廟大勢供を定平北東

庚申年四月十八日

信 變

十月八日

士會の全日

社會の中心

天魚
三

暖寒

梁武帝外史卷之五

日九月二十

〔樓木〕
丑辛

耶衣腹痛ヲ受ヘ下痢而懷爐ヲ入テ十時
 出物工業俱樂部ノ財政委員会ニ出席ニ參
 後松沢二時歸社乗房ノ錢因止太郎氏ヲ以
 見向島鐵道ノ模様數々都合能國淺ヲ
 五百万圓低利資金買入ノ額ヲナシタルヲ
 午後三時半自仁智鐵長處ヲ出旅所ノ前ニ來
 午方大浴鐵石運搬量約三十万也而大浴
 搬出ノ鉄錢ハ三菱ノ托々ト主裏向ナルヲ
 佐々木時移記

（四正大）幸臨仁場會祝奉市京東皇天

相宜

一會長
斗月五午圖

吳道立
知府立

一床野服

中
古
斗

五
五
五

一盟盡役

三十

志於國

千計百出、大に失ふべし。大山盛衰、存亡の命。

社、用、供、ス、ル、モ、ト、ス

又上書面ヲ以テ同全分ノ用ス

今日習武外甥外長其他子自命歌舞妓汪、李、成

腹痛用今为因奈氏代理ヲ批シ相真ニ

幸俗代被得ハ江口式し主人ヲ依頼ス四時羊出

四六

天
氣
口
雲

新
改訂
工部局
章程

張

朝十時上野発日亥行ノ役事ニ塔堂より壽吳公
道上前ニ至ル公然テ白河經洋夫人久仁子合張ツ夫
知テハ一歲ノ山本熊太郎亦亦公ニ面ズト合合相件
マテ日夫ニ赴リテ後卦時ヲ公知テ着歸人達ヲ小西
別領ノ送り山本亦不ト金カウ石勘斗大出平吉
方ニ至リ納骨ノカルヲ令セヨナン旅領入りテ暫
時休憩ヲ一全打ツレ自備車ニ洋光辛ニ赴キ納
骨前ニ至テ住職ノ讀任ヲ言テ經洋ヲ分
有テ領雲ノ宗域ノ理ニ至テ領雲ノ領
ト分置テ事ナリ悟セテ四年出サ三八六ニ白石ハ自
然石ニテ高サ約廿八六七ニ盛域慥セ人御奉行八
尺圍ラヌ土垣ヲ以テス質ノ末ニテ年隱匿エサルモ亦
我ニ散ノ末ニ至リテ納骨ニ終リテ一全機ヲ示シ人
感ニ任マリテ泣リテ告満ニ至ル山ヲユメテ告満タリ

永平公二ハハ少津守人 解津子ト改ニ哥ハ私文得キ仁リ未亡人
日南会ハメテ本ハタ談 彼得キニ歸ス又

晴

暖寒

東京市会
多岐山

十二時止社 査査 係守吉ヲ 石キテ 北京 村 物ノ
内テウ 傳ノ 今人 兼 領ス
午後一時 三 愛 銀行 重役 会 午後二時ヨリ 銀行
会社 係 会、新テノ 合ヤ 会アリ
午後六時 係 所 常 監 査、催シタル 東京 假 部
者 手 会、新リ 叙 昇、子 爵 昇、半 夕リ 九 時 迄
九時 羊 白 河 久 仁、子 官 務、人 ト 未 訪 者、人
談 白 河 夫人、依 貴 力 於 國、ヲ 鳩ル

晴

暖寒

晴

暖寒

十二時止社 査査 係 今 仁 存、之 者、氏、ヲ 在、呼ビ 全
人 針 業 株、リ 更 後、ノ 恒 所 的 状 停、ノ 外、ス 知、アリ
今 人 決、テ、之 躬 直、ノ 状 停、ヲ、サ、ル、事、ヲ 始、テ、フ、止、社 後
之、ヲ 社 長、ノ 報 告、ス
十一時 理 事 会、三 愛 保 險 会 社 決 算、ヲ 其 議、ス
午後一時 羊 白 河 久 仁、サ、ル、銀 行 會 社 重 役 会、
高 級 会 友、致、三 市、大 票 貯、以 料 畢 生 正 本、以 確
ニ 普 後、就 職、ノ 件、ヲ 未 訪
木 下 村、三 市、氏 借 用 金、ノ、々、未 訪、之、ヲ 銀 行
願、下、代、銀 介、ス
横 文 石、士 傳、倫 某、者 湯 亭、 未 社、ヲ 亦 百
四、ノ 分、出 版、ノ、リ、更、ヲ 初、ス
他 時、半 日、止

成庚

十月二十

庚申年十一月一日
九

天	氣
雨	
寒	暖

并世令狂會

十一時也社朝去村利夫吳二

午後二時ヨリ 針葉会社ノ立期研究会ヲ工業博
示部ノ内リ会スル者約九十名公席以來候メテノ
羊期決着ナリ山本、佐々木、松会ズ、
後端瑞一致奈々生ヲ可決ス

三時 羊蹄社宮周弁茂士トス夕バークト天
 公トハ其意見ヲ之國シ公能ク之方ヲ
 了了鮮ス奥村中友列帝
 五時 出

正長、美和全三ノ辨、夜介九景、燦ノ浅野ノ
茅、美和全三ノ辨、夜介九景、燦ノ浅野ノ

366

(二六八一) ず止廢を及制隷双國米 (五七七一) るま始爭戰立獨國米

古今圖書集成

社會全圖

天晴天

—4— 中華庚

十月十九日


 88 89

三

昨夜半而止。迨好，晴天。又盪小春。他日午。

後一時壽美公並電事ニテ新所ニテ八王寺
ノ京リ日節々豐田ニ赴キ別荘地ヲ詮索ス

世皇國ハ開辟北ハ丘陵ヲ負ヒ南ハ多麻キノス
 高ハ秋西ハソビヘニ森有シ主ノ地ヲ歸金

江口至桑下一行 国分寺、別荘三リ 帰ル、合会ス

正慶ハ十日 膝折し友人ト共ニ
村上日五、

(八三治明) 定決審豫件事聚囑徒兇中廣野河

36

晴 暖寒

午前晴会無

晴 暖寒

朝夫村刊席がまり設備不足額三千圓を
要し、後場よりメランクルモ再々事、午之
午後、午後、歳暮、祝儀、里門、田島、
交り、定家、青膳、改字、病息、文景、山御、
士、美、公、正、成、以、云、及、勝、海、一、身、其、他、十二
日、午後、今、夕、会、席、無、座、赴、于、岡、其、右、サ、イ
所、男、主人、タリ、六、時、席、此、席、ハ、過、般、三、在、リ
ヲ、金、小、メ、ト、有、世、セ、メ、茶、竹、男、小、メ、九、胆、レ、破
ト、タ、ハ、候、ト、シ、改、ラ、レ、タ、シ、モ、ナ、リ、席、上、又、北、川、三
北、川、ハ、并、表、木、小、メ、面、但、ノ、再、戦、最、後、三、在、リ
小、メ、田、代、アリ、連、席、首、介、レ、カ、衣、胆、又、余、ハ、三
北、川、小、メ、但、シ、テ、破、レ、未、年、石、月、十八、日、二十、日
騎、サ、キ、ハ、一、時、タリ、示、後、ハ、三、在、リ、但、シ、テ、勝利
茶、竹、風、反、騎、サ、キ、セ、ト、瓦、ル、時、半、退、云

晴 暖寒

晴 暖寒

久保 紅七郎ハ勝
天、一、朝、リ

晴 暖寒

十一時、出、社、者、社、前、田、島、来、ル、政、亦、又、主、手、吉
横、外、九、五、五、六、百、圓、ヲ、贈、ッ
上、時、飯、同、学、太、郎、来、社、衆、前、席、有、リ、準、備、金
不、足、存、シ、未、知、株、金、如、力、圓、ヲ、手、内、可、也、余、令
アリ、タ、リ、以、テ、知、要、金、額、四、五、百、圓、ト、セ、レ、タ、キ、云
半、云、リ
理、事、合、席、席、三、長、電、話、会、社、ハ、妙、行、財、屋、主
内、二、長、主、権、又、特、許、権、ノ、グ、ラ、ト、ウ、ル、石、万、圓、ハ、午
茶、前、決、シ、花、句、割、席、ノ、ミ、安、レ、引、換、キ、資、本、金、額、
午、内、計、議、決、定、主、主、ス、三、時、半、散、会
堀、口、秀、雄、公、席、を、タ、リ、ス、午、半、未、訪
会、後、飯、同、学、作、介、江、川、半、田、青、木、ト、合、成、ノ、工
江、川、合、成、社、長、ヲ、病、床、訪、ヒ、止、ム、得、ル、代、リ、午、金
ト、主、手、天、ハ、午、四、時、五、分、散、会、終、リ、得、タ、リ

上野退去

十一月二十

暖寒

當時羊社は子供を招き、夕方七時迄に
遊ぶ。本社共前園月曜日に爪印あり、初奉
日始まる。勅スニ安電會社及直島製糖如
有廢りカル理事會及重役會、恒途ヲ報告ス
午後五時、カレシシ、ゲラルギスキー、外一人公道出
社者方ヨリハ、奥村、存友、外、芝岡兼平、渡士
列席、自介及カーシシノ席ニ於據テ、柴田共内任
に對シ、カルミヤナスタヘীগロ、英文習考書看
名取交セテ了シタリ。十時半後七時也。

378

(九三治明) るらせ叙に級一功位勳大將大郷東

社會の今日

暖寒

今朝七時頃より雪降り始め九時羊舌屯着
ニテ西叟十一時^{おき}着、渡河うまけ^し午後三時
上り整理し三時羊舌屯より高柳河
口まで約七十里雪ノカメ又合セタリ
昨夜後熟生、於てハ銀行ノ支手合參席ヲ
新ル

四面白體々街蒲生来御し寂友之手をさり

降了雲，
雨也下，
城內了，
風，
各。

十時雲晴き星斗輝々
をよるまふ斗へたを以て星乃川

ちかきものとけり年の願ちあり
 れどもてなや事ならぬ年の願を
 願ふ事こそ願をとりとりのま

(七三治明) 領 占 臺 砲 山 樹 松

379

